

令和 3 年度

川崎市健康安全研究所年報

第 9 号

(通巻第 57 号)



KAWASAKI CITY

川崎市健康安全研究所

(発行：令和 4 年度)

はじめに

昭和27(1952)年川崎市中心保健所内に設置された川崎市立衛生試験所は、昭和45(1970)年川崎区大島町にて川崎市衛生研究所となり、平成25(2013)年川崎区殿町国際戦略拠点キングスカイフロント(Kawasaki INnovation Gateway at SKYFRONT)の一画に新築された川崎生命科学・環境研究センター(Life Science Environmental Research Center: LiSE 通称「ライズ」)へ移転し、名称を「川崎市健康安全研究所」と改め、令和3(2021)年度で8年を経ました。空地だらけで強い空っ風が吹き、「砂漠」などと称されていたこの一角も、ナノ医療イノベーションセンター・国立医薬品食品衛生研究所をはじめ多くの公的・民間研究機関が集まり、「町」としての体をなしてきました。

キングスカイフロントに集まった多くの施設・機関は「イノベーション」をキーワードに活発に研究・開発活動を行っていますが、その中で私たち川崎市健康安全研究所は、「市民の健康と安全を守る」をキーワードとして、公衆衛生にかかわる幅広い研究調査を行う公的研究機関です。私たちは、日常的な業務を着実にやりながら、公衆衛生に資する新たな知見を生み出す研究を継続して行い、その中からイノベーションが生まれてくるようにしていく所存です。

令和元(2019)年末に中国武漢市で発生したと思われる新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は令和2(2020)年に入ると世界的流行となり、WHOによりパンデミックと宣言され、日本もそして川崎市も直撃を食らいました。令和3(2021)年度には3回の大きな波と緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の適用、さらに加えて東京オリンピック・パラリンピック開催などがあり、所内のウイルス担当、感染症情報センターは多忙を極めましたが、所内総務、細菌部門や理化学部門等全所的な応援により対応することができました。当所で行った令和2(2020)年度の新型コロナウイルスPCR検査検体数は30,477件でしたが、令和3(2021)年度は40,683件でした。この中で検査に関する大きなミスもなく、成績を出し続けることができたことは、地方衛生研究所として胸を張って御報告できることと考えています。なお依頼検査数は増加する一方となったため、2021(令和3)年7月から検査の一部は民間委託としています。一方、新型コロナウイルス感染症発生以前より購入していた2台の次世代シーケンサー(NGS)の取扱いに習熟してきたため、地方衛生研究所の中でもいち早く本格的な新型コロナウイルスのゲノム解析に取り組むことができました。

新型コロナウイルス感染症対応で多忙を極める一方、通常の業務については滞ることなく遂行し、じっくりとした研究への取組みの時間はやはり減少したものの、学会発表や論文発表も引き続き行うことができました。学会や研究会、研修・講習等の現地参加は叶わなくなりかなり縮小せざるを得ませんでした。一方では、本報告書の「4. 学会参加並びに視

察対応の実績」に記されているように、オンラインによる「居ながらにしての参加」が急増しました。またこれに対応する IT 機器の導入なども行うことができ、ネット環境は著しく改善がみられました。そして、これらができるだけスムーズにいくよう、総務部門が大きく支援をしてくれました。多忙な令和 3 (2021) 年度でしたが、地方衛生研究所の役割、貢献、そしてこれからの在り方などを見直す良い機会でもありました。

当研究所における機能強化と実行、進展は着実に進められております。川崎市の関係各位・各部署の御理解と御協力、各地方衛生研究所等との連携、キングスカイフロント「町」における顔の見えるお付き合い、そして市民の方々の御理解の賜物であり、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。

当研究所が、川崎市民の健康と安全、ひいては我が国そして世界の人々のための公衆衛生の向上に貢献できるよう、そしてその様子を引き続き皆様にお伝えすることができるよう、職員一同精進を続けることを本年も改めてここに誓うものです。

最後になりますが、当研究所における検査・研究・運営、そして大島町の旧衛生研究所から殿町キングスカイフロントの現研究所への移転計画から実施、さらに新研究所のスムーズな立ち上げに多大な貢献をされた橋口成喜理化学担当課長が、病には勝てず令和 3 年 12 月 28 日永眠されました。橋口課長の功績を称え、改めて御冥福を祈る職員一同の気持ちをここに表させていただきます。

川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦

歴代所長

福田 諄	昭和	45年	6月	～	昭和	49年	3月
杉原 正造(所長事務取扱)	昭和	50年	4月	～	昭和	50年	7月
本庄 茂敏	昭和	50年	8月	～	昭和	51年	10月
依田 源次(所長事務取扱)	昭和	51年	10月	～	昭和	52年	3月
長田 信	昭和	52年	4月	～	昭和	57年	1月
中村 武雄	昭和	57年	2月	～	昭和	61年	3月
和田 明	昭和	61年	4月	～	平成	2年	3月
吉澤 秀明	平成	2年	4月	～	平成	5年	3月
原田 忠彦	平成	5年	4月	～	平成	6年	3月
大村 敏郎	平成	6年	4月	～	平成	9年	3月
安藤 正義	平成	9年	4月	～	平成	11年	3月
佐藤 欣弥	平成	11年	4月	～	平成	13年	3月
黒澤 登	平成	13年	4月	～	平成	17年	3月
小川 正之	平成	17年	4月	～	平成	20年	3月
丸田 茂貴	平成	20年	4月	～	平成	22年	3月
妙摩 博	平成	22年	4月	～	平成	24年	3月
岡部 信彦	平成	24年	4月	～			

川崎市衛生研究所

(昭和45年6月 川崎市衛生試験所から名称変更・移転)



川崎市健康安全研究所

(平成25年3月 川崎市衛生研究所から名称変更・移転)



目次

第1章 概要

1 沿革	1
2 施設概要	2
(1) 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)施設概要	2
(2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について	2
(3) 健康安全研究所施設概要	3
3 組織	4
(1) 組織と業務	4
(2) 事務分掌	5
(3) 人員配置	5
4 予算及び決算	6
5 学会参加並びに視察対応等の実績	7
(1) 学会・研究会等出席実績	7
(2) 講習会・研修会等受講実績	9
(3) 会議等出席実績	11
(4) 講師派遣実績	23
(5) 研修指導実績	26
(6) 視察・見学受け入れ実績	27
(7) 研修報告会開催実績	28

第2章 業務実績

1 企画調整部門	29
(1) 企画調整担当	29
(2) 感染症情報センター担当	31
2 理化学部門	36
(1) 食品担当	36
(2) 水質・環境担当	39
(3) 残留農薬・放射能担当	43
3 微生物部門	55
(1) 消化器・食品細菌担当	55
(2) 呼吸器・環境細菌担当	60
(3) ウイルス・衛生動物担当	62

第3章 試験検査

1 月別検査件数	65
2 依頼別・項目別検査件数	68
3 食品別検査項目内訳	73
(1) 食品別検査項目内訳(理化学検査)	73
(2) 食品別検査項目内訳(食品細菌検査)	74
4 水質別検査項目内訳	75

第4章 調査研究

1 令和3年度調査研究課題一覧	76
2 調査研究報告等実績一覧	78
(1) 令和3年度学会発表実績(口演発表)	78
(2) 令和3年度学会発表実績(示説発表)	78
(3) 令和3年度学会発表実績(誌上発表)	78
(4) 令和3年度論文掲載実績	79
(5) 令和3年度行政報告等実績	80
(6) 令和3年度その他執筆実績	81
(7) 令和3年度表彰等受賞実績	81
3 調査研究報告	82

第5章 職員に関する事項

1 人事記録	85
2 職員名簿	86

【第1章 概要】

1 沿革

年月	事項
昭和27.1	川崎市条例第2号(昭和27年1月9日)により公衆衛生の向上及び増進に寄与するため川崎市立衛生試験所が設置される。庁舎は川崎市砂子1丁目7番地 川崎市中央保健所2階の一部を使用。
昭和27.2	川崎市事務分掌条例(昭和22年川崎市条例第16号)に基づく事務分掌規則により「庶務係」及び「試験係」が設置される。
昭和36.7	市内に4か所の原子炉関係施設が設置され、市民からの強い要望に応じて、川崎市立川崎病院構内に放射能測定室を設置し、業務を開始。
昭和36.10	川崎市事務分掌規則の改正により試験係が廃止され、新たに、試験第1係、試験第2係が設置される。
昭和37.9	川崎市中央保健所庁舎が改築され、同時に同庁舎4階に移転する。
昭和40.4	試験第1係、試験第2係が廃止され、新たに、微生物係、臨床検査係、理化学環境検査係が設置される。
昭和42.7	川崎市事務分掌規則の改正により理化学環境検査係が廃止され、新たに、食品化学係、環境検査係が設置される。
昭和44.4	川崎市立川崎病院構内に設置の放射能測定室を閉鎖し、環境検査係内に移す。
昭和44.9	川崎市大島5丁目5番地2(元川崎市交通局トロリーバス車庫跡地)に庁舎新築起工する。
昭和45.5	新庁舎竣工する。
昭和45.6	川崎市条例第2号が改正され、川崎市衛生研究所条例(昭和45年3月31日条例第14号)が新たに施行される。(名称変更と設置場所の変更) 川崎市事務分掌規則の改正により課制を施行、2課7係が設置される。 微生物課(①庶務係、②細菌検査係、③臨床検査係、④ウイルス検査係) 理化学課(①食品検査係、②水質検査係、③環境検査係)
昭和45.6	川崎市衛生研究所新庁舎の開庁式が挙行される。
昭和46.3	川崎市衛生研究所条例の一部を改正する条例が公布される。(昭和46年3月23日条例第6号)
昭和46.8	川崎市衛生研究所放射線障害予防規程(昭和46年7月29日訓令第14号)が施行される。
昭和46.10	川崎市事務分掌規則の改正(昭和46年10月15日規則第71号)により、1室、2課6係となる。同時に川崎市役所機構改革により公害局公害研究所が新設され、庁舎共同使用となる。
昭和47.4	川崎市が指定都市に指定される。(地方自治法第252条の19第1項)
昭和48.12	公害研究所が新庁舎建設に伴い移転する。
昭和50.4	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(昭和50年4月1日条例第6号) 川崎市衛生研究所条例施行規則が全面改正施行される。(昭和50年4月1日規則第21号)
昭和50.7	4階に実験室を増築する。
昭和61.10	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、課、係制を廃止し、主幹・主査制を導入する。
平成元.3	1階に安全実験室を設置する。
平成3.3	電子顕微鏡室を設置する。
平成4.3	3階に有機溶媒排気装置を設置する。
平成4.4	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、事務分掌の内容を変更する。
平成4.5	主査(衛生動物検査担当)及び主査(残留農薬検査担当)を増設する。
平成6.4	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第13号)
平成6.7	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第6号) 手数料(第7条関係別表)を大幅に改定する。
平成9.5	神奈川県から医薬品検査業務が本市に移管されたことに伴い、4階に医薬品検査施設を増設する。
平成10.4	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成10年3月24日条例第4号) 医薬品検査手数料を新設する。
平成12.4	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成12年3月24日条例第12号) 手数料(第7条関係別表)を一部改定する。
平成16.2	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成15年12月25日条例第48号)
平成16.3	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成16年3月24日条例第8号) 川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成18年3月31日条例第34号)
平成20.3	川崎市衛生研究所条例が一部改正施行される。(平成20年3月25日条例第20号)

年月	事項
平成21.4	組織再編により第2類事業所となる。 衛生動物検査部門をウイルス検査部門に統合する。
平成24.4	組織再編により第1類事業所となる。 副所長及び企画調整担当を設置する。 環境検査部門を水質検査部門に統合する。
平成25.2	川崎区殿町3丁目25番13号川崎生命科学・環境研究センター2階に移転する。
平成25.3	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部改正施行される。(名称等の変更) 組織改正により衛生研究所を再編し、健康安全研究所を設置する。 感染症情報センターを健康安全研究所内に設置する。
平成25.4	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部施行される。(手数料の改訂) 企画調整担当課長を設置する。

2 施設概要

(1) 川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）施設概要

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE; Life Science and Environment research center)は、市の研究施設である「川崎市健康安全研究所」及び「川崎市環境総合研究所」に加え、民間の研究施設が入居した施設であり、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントにおける、ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点として建設された。

土地は川崎市、建物は大成建設株式会社が保有し、施設維持管理は大成有楽不動産株式会社が実施するPP(Public Private Partnership)方式が採用されている。

環境に配慮した設計とされており、太陽熱や空気熱を利用した給湯システム、太陽光パネルを用いた電力供給、外壁へのダブルウォール(二重壁)使用による断熱性、メンテナンス性向上等の様々な環境対策が施されている。

表1 川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）建物概要

所在地	〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-13
敷地面積	6,999.93㎡
建築面積	3,110.63㎡
延床面積	11,406.09㎡(うち健康安全研究所使用部分2329.38㎡)
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
規模	地上4階、塔屋1階(うち健康安全研究所として2階フロアを使用)
竣工年月	2012年12月
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所
施工	大成建設株式会社横浜支店
建物所有	大成建設株式会社
建物維持管理	大成有楽不動産株式会社
主な施設	1F カフェ、防災センター、会議室、書庫、セミナー室等 2F 川崎市健康安全研究所 3F 川崎市環境総合研究所 4F 民間ラボ

(2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について

本研究所は平成25年3月、川崎区大島5丁目から、川崎区殿町3丁目の川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階に移転開設し、名称が「川崎市衛生研究所」から「川崎市健康安全研究所」に変更された。

移転時には、企画調整担当の新設に加え、感染症情報の収集・解析・発信を行う感染症情報センター機能を

健康福祉局健康安全室(現在の健康福祉局保健所)から移管するなど、移転開設に併せて研究所機能の強化が図られた。

研究所の役割は、川崎市の衛生行政を支える科学的・技術的中核機関として、試験検査、調査研究、情報発信、研修指導の4本柱を基盤とし、市民の健康で安全な暮らしを支えることを目的としているほか、実験動物中央研究所をはじめとする殿町地区内外の研究機関との共同研究にも力を注いでいる。

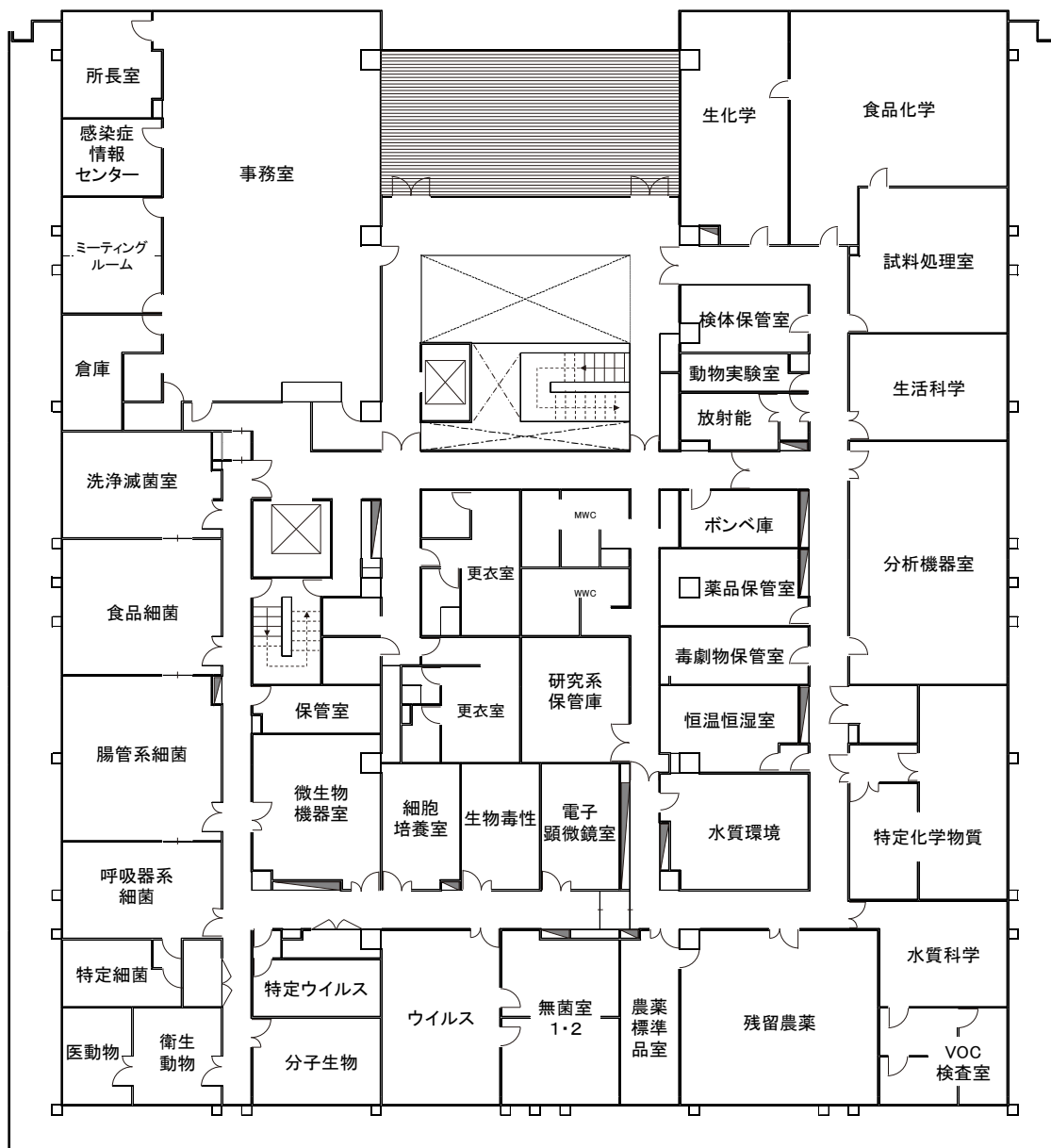
(3) 健康安全研究所施設概要

研究所施設は川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)の2階フロア全体を占め、理化学エリア、微生物エリアの他、事務室及び感染症情報センターの4エリアで構成されている。

旧施設の衛生研究所では、事務担当以外の職員の事務机はそれぞれの検査室に配置されていたが、健康安全研究所では全ての職員について、事務室に事務机を配置し、情報の共有化が図りやすい環境となった。

また、それぞれのエリアではICカードによる入室管理が行われている。特に理化学エリア及び微生物エリアは2次セキュリティのフロアとなっており、また入室の権限についても個人ごとに別々に付与されているため、たとえ職員であっても不要な諸室には入室できないようになっている。

図1 健康安全研究所図面(川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階)



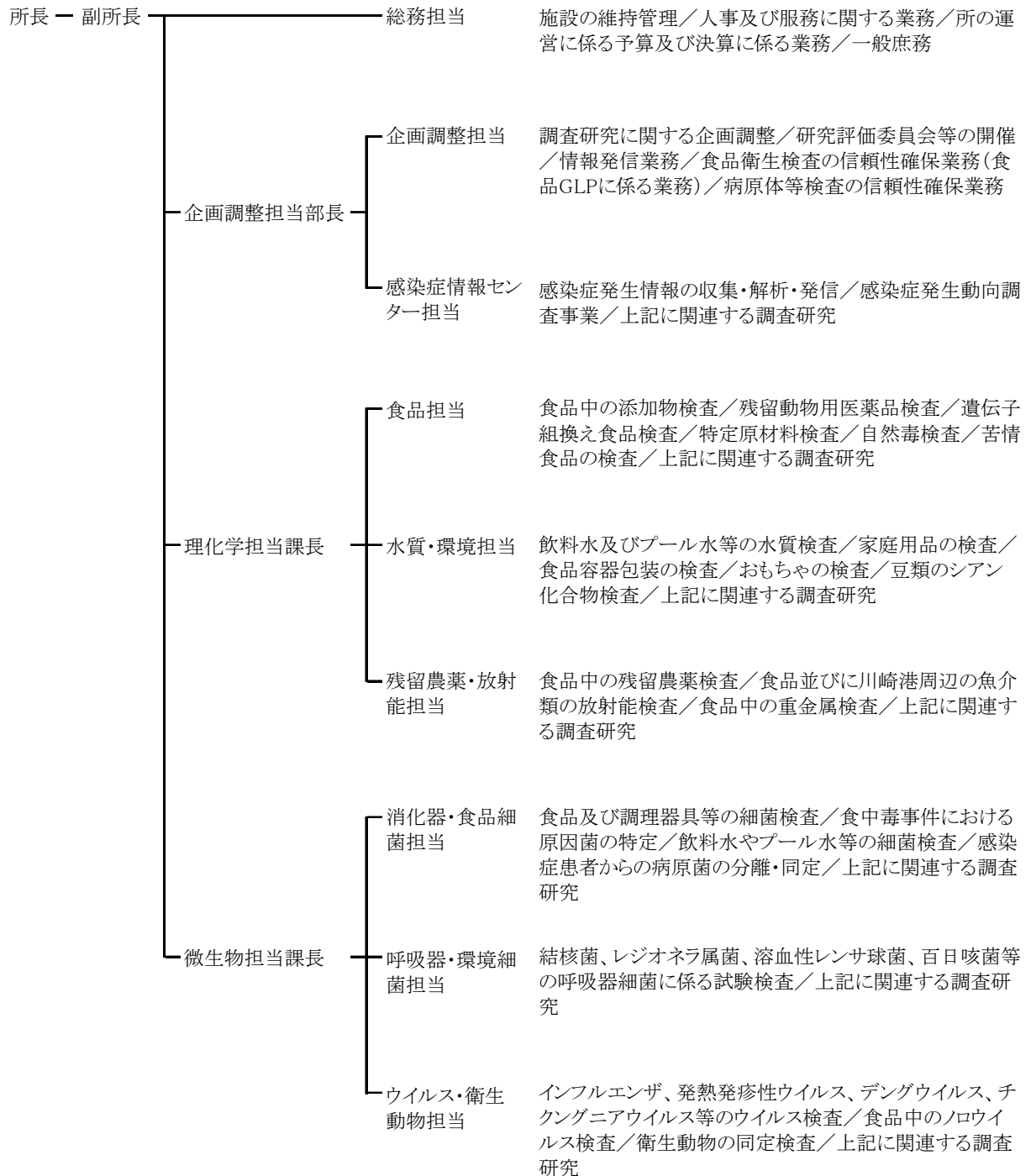
3 組織

(1) 組織と業務

本研究所の組織は、所長のもとに 9 担当で構成されている。

組織体制と各担当の主な業務を図 2 に示す。

図2 組織図



(2) 事務分掌

川崎市事業所事務分掌規則(昭和 51 年 4 月 30 日規則第 39 号)第 3 条の事務分掌は、次のとおりとする。

健康安全研究所

- ア 所の維持管理に関すること。
- イ 試験検査の企画、調査及び統計に関すること。
- ウ 公衆衛生従事者の研修に関すること。
- エ 感染症情報センターに関すること。
- オ 微生物学的試験検査及び調査研究に関すること。
- カ 衛生動物の試験検査及び調査研究に関すること。
- キ 理化学的試験検査及び調査研究に関すること。
- ク その他公衆衛生上必要な試験検査及び調査研究に関すること。

(3) 人員配置

令和 3 年 4 月 1 日現在の人員配置を表 2 に示す。

表2 人員配置

		職種						総数
		医師	一般事務	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	化学	
所長		1						1
副所長				1				1
総務			3		2			5
企画調整	担当部長	1						1
	企画調整			2				2
	感染症情報センター			2	1			3
理化学	担当課長				1			1
	食品			1	3		1	5
	水質・環境				3		2	5
	残留農薬・放射能				2	2		4
微生物	担当課長					1		1
	消化器・食品細菌			1	2	2		5
	呼吸器・環境細菌				2	1		3
	ウイルス・衛生動物			3	1	2		6
合計		2	3	10	17	8	3	43

4 予算及び決算

令和3年度の歳入及び歳出をそれぞれ表3及び表4に示す。

表3 歳入

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
使用料及び手数料			
手数料			
健康福祉手数料	保健衛生施設手数料	558,903,000	497,487,460
諸収入			
雑入			
弁償金	健康福祉費弁償金	0	101,755
雑入	健康福祉費雑入	15,333,000	1,130,040

表4 歳出

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
健康福祉費			
保健衛生施設費			
健康安全研究所費		579,294,000	492,888,813
	報酬	2,038,000	1,333,731
	給料	854,000	852,696
	職員手当等	158,000	135,720
	共済費	0	0
	報償費	327,000	80,000
	旅費	1,143,000	455,338
	需用費	144,758,000	87,678,784
	消耗品費	141,214,000	86,686,124
	燃料費	16,000	22,435
	印刷製本費	906,000	631,950
	光熱水費(ガス料)	35,000	29,615
	修繕費	2,587,000	308,660
	役務費	1,382,000	1,023,367
	電信電話料	185,000	150,260
	郵便料	328,000	280,691
	運搬料	5,000	0
	手数料	864,000	592,416
	委託料	42,096,000	35,844,130
	使用料及び賃借料	216,368,000	207,507,271
	備品購入費	126,923,000	115,333,254
	負担金補助及び交付金	43,247,000	42,644,522

5 学会参加並びに視察対応等の実績

(1) 学会・研究会等出席実績

年月日	名称	場所	参加者
R3.4.16～18	第124回日本小児科学会学術集会	オンライン	三崎
R3.5.7～9	第95回日本感染症学会学術講演会	パシフィコ横浜	岡部、三崎、丸山、淀谷、廣富
R3.6.9～10	衛生微生物技術協議会第41回研究会	オンライン	岡部、三崎、丸山、池田、廣富
R3.6.10～11	日本食品化学学会 第27回総会・学術大会	オンライン	赤星
R3.6.12～13	第62回日本臨床ウイルス学会	オンライン	岡部、三崎、丸山、駒根、池田
R3.6.18～19	第96回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会・学術講演会	オンライン	淀谷
R3.8.28	第24回臨床腸内微生物学会総会・学術集会	オンライン	岡部
R3.9.8～9	日本防菌防黴学会 第48回年次大会	オンライン	淀谷
R3.9.17	第3回SFTS研究会学術集会	オンライン	岡部
R3.9.19～20	第36回日本環境感染学会総会・学術集会	名古屋国際会議場	岡部、三崎、丸山、池田
R3.9.21～10.20	第42回日本食品微生物学会学術総会	オンライン	吉田、三亀
R3.10.8	令和3年度地方衛生研究所全国協議会第35回関東甲信静支部ウイルス研究部会	オンライン	岡部、清水、夏井
R3.10.9～10	第53回日本小児感染症学会総会・学術集会	京王プラザホテル	岡部、三崎、丸山、廣富
R3.10.23	日本危機管理防災学会第15回研究大会	オンライン	岡部
R3.10.24	第20回人と動物の共通感染症研究会学術集会	オンライン	岡部
R3.10.26～27	第117回日本食品衛生学会学術講演会	オンライン	橋口、浅井、牛山
R3.10.27	日本脳神経外科学会第80回学術総会	パシフィコ横浜	岡部
R3.10.27～29	第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会	東京ドームホテル＋オンライン	三崎、丸山、池田、西里
R3.10.28	第49回日本臨床免疫学会総会	京王プラザホテル	岡部
R3.11.5	令和3年度 地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会	オンライン	橋口、浅井、佐々木(清)、佐藤、赤星、牛山、江原
R3.11.14	日本小児アレルギー学会第58回学術大会	パシフィコ横浜	岡部
R3.11.15	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第11回公衆衛生情報研究部会総会・研究会	オンライン	岡部、三崎、丸山、池田、廣富

R3.11.16	オフフレーバー研究会 第11回勉強会	オンライン	赤星
R3.11.17	神奈川県公衆衛生学会	オンライン	岡部
R3.11.17～18	第44回農薬残留分析研究会	オンライン	岸、佐野、江崎、沼田
R3.11.17～18	第68回日本ウイルス学会学術集会	神戸国際会議場	三崎
R3.11.23	第49回日本救急医学会総会・学術集会	ベルサール東京日本橋	岡部
R3.11.25～26	第58回全国衛生化学技術協議会年会	国立医薬品食品衛生研究所+オンライン	橋口、浅井、岸、佐々木(清)、江原、佐野、江崎、沼田
R3.11.27～28	日本性感染症学会第34回学術大会	オンライン	廣富
R3.12.3～5	第25回日本ワクチン学会学術集会	軽井沢プリンスホテル ウェスト	岡部、三崎、丸山、池田
R3.12.14	令和3年度地域保健総合推進事業シンポジウム	灘尾ホール	三崎、丸山
R3.12.17～18	日本外科感染症学会第34回学術集会	北九州国際会議場	岡部
R3.12.21～22	第80回日本公衆衛生学会総会	京王プラザホテル	岡部、三崎、丸山、池田
R4.1.22	第89回神奈川県感染症医学会	オンライン	三崎、小嶋、赤木、丸山、池田、廣富、西里
R4.1.27～28	第35回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	オンライン	岡部、三崎、丸山、池田、廣富
R4.1.28～30	第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会	仙台国際センター	三崎、小嶋、丸山、池田、荒井、西里
R4.2.4～3.6	第22回食物アレルギー研究会	オンライン	赤星
R4.2.9～10	令和3年度第33回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、赤木、丸山、吉田、三亀、淀谷、池田、廣富、西里
R4.2.10	第7回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム	よみうり大手町ホール	岡部
R4.2.18	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会	オンライン	佐々木(清)、浅井、岸、赤星
R4.2.19	国際小児科学会シンポジウム	オンライン	岡部
R4.3.2	日本公衆衛生協会シンポジウム	オンライン	岡部
R4.3.3	令和3年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会理化学情報部会	オンライン	浅井、佐々木(清)、赤星、田中、牛山、高居、佐野、江崎、沼田
R4.3.3～5	第27回日本災害医学会総会・学術集会	広島国際会議場	岡部
R4.3.10	日本食品衛生学会特別シンポジウム	オンライン	赤星
R4.3.16～18	第56回日本水環境学会	オンライン	牛山

(2) 講習会・研修会等受講実績

年月日	名称	場所	参加者
R3.4.9	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)研修会	オンライン	岡部
R3.4.9	厚生労働省HER-SYS研修会	オンライン	丸山
R4.4.13	神奈川県新型コロナウイルス感染症研修会	オンライン	丸山
R4.4.15～16	地方衛生研究所サーバイランス業務従事者研修	オンライン	丸山、廣富
R3.4.20	神奈川県新型コロナウイルス感染症研修会	オンライン	丸山
R3.4.20～21	水道水質・環境分析ウェビナー2021(アジレント・テクノロジー)	オンライン	佐々木(清)、小林、田中、牛山、高居
R3.4.26～28	次世代シーケンサー技術研修会	国立感染症研究所 戸山庁舎	佐々木
R3.4.27	神奈川県新型コロナウイルス感染症研修会	オンライン	丸山
R3.4.27	健康福祉局新任職員研修	第4庁舎	杉本、廣富、西里、荒井(智)
R3.5.10	令和3年度衛生課新人新任職員研修会	ソリッドスクエア	門脇、沼田、廣富、西里、荒井(智)
R3.5.13	ウォーターズ 明日から使えるLC基礎講座～LCカラムの基礎～	オンライン	岸、沼田
R3.5.18	第12回FDSC精度管理セミナー	「きゅりあん」品川区立総合区民会館	佐々木(清)、江原
R3.5.21	神奈川県健康医療局生活衛生部 令和3年度食品衛生監視員研修	オンライン	沼田
R3.5.21	感染研シンポジウム	オンライン	丸山
R3.5.25	ウォーターズ 明日から使える LC 基礎講座 ～クロマトグラフの分類と選び方～	オンライン	岸、沼田
R3.5.25～28	公益財団法人結核予防会結核研究所研修 保健師・看護師等基礎実践コース	オンライン	西里
R3.5.31	令和3年度食品衛生監視員研修	オンライン	沼田
R3.6.22	ウォーターズ 明日から使える LC 基礎講座 ～シンプルサンプル前処理～	オンライン	岸、沼田
R3.7.2	障がい者雇用研修会(経験交流会)	オンライン	佐藤
R3.7.30	令和3年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	オンライン	畠山
R3.8.27	令和3年度 国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム	オンライン	橋口、赤星
R3.9.1	株式会社島津製作所 GCスクール / GCMSスクール	オンライン	沼田
R3.10.1	AOAC日本 2021技能試験(理化学試験)フォローアップセミナー	オンライン	橋口、浅井、江原

R3.10.18	WatersLC PDAオンライン説明研修	川崎市健康安全研究所 ミーティングルーム	浅井、佐藤、栗田、赤星、 江原、牛山
R3.10.20	GC, GC-MSトラブルシューティングウェビナー(西川計測)	オンライン	高居、田中
R3.10.20	高病原性鳥インフルエンザ対応訓練	オンライン	池田、廣富
R3.10.20~21	令和3年度 薬剤耐性菌の検査に関する研修 基本コース	オンライン	吉田
R3.10.27	水銀測定装置のメンテナンス RA-4300/4500編(日本イン スツルメンツ)	オンライン	佐々木(清)、田中、牛山、 高居
R3.10.27	令和3年度原子力防災基礎研修	神奈川県庁西庁舎	沼田
R3.11.5	令和3年度原子力災害対策要員研修	神奈川県産業振興セン ター	沼田
R3.11.19	令和3年度厚生労働省関係動物実験施設協議会総会・研 修会	オンライン	橋口、浅井、赤星
R3.11.25	東京2020大会における食品安全の取組	オンライン	沼田、佐野、江崎
R3.11.26	令和3年度 アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関す る技術講習会	オンライン	吉田、駒根
R3.11.30	令和3年度人権研修「障がい者と人権」	川崎市役所第4庁舎	江原
R3.12.9	日本医師会認定産業医研修会	神奈川県総合医療会館	三崎
R3.12.10	公益社団法人日本食品衛生学会東ブロック 食品に関するリスクコミュニケーションの公開セミナー	オンライン	岸、佐野、江崎、沼田
R3.12.14	モニタリング技術に関する基礎的な講座	横浜ワールドポーターズ	沼田
R3.12.14	職員研修「職場で生きる『回復力』」	中原区役所501会議室	若菜、荒井
R3.12.16	神奈川県新型コロナウイルス感染症研修会	オンライン	丸山
R3.12.17	ISO/IEC 17025:2017(JIS Q 17025:2018)規格の監査研修 会	オンライン	杉本、畠山
R3.12.21	管理監督者のラインケア研修	川崎市中原区役所	佐々木(清)
R3.12.22	株式会社アイスティサイエンス 第1回 「試料の調製 予冷式ドライアイス凍結粉碎法」	オンライン	岸、佐野、江崎、沼田
R4.1.19~21	令和3年度衛生検査基礎技術研修「病原性細菌検査法の 基礎研修」	神奈川県衛生研究所	吉田、西里
R4.1.21	令和3年度 衛生理化学分野研修会	オンライン	高居、牛山、田中
R4.1.24~25	令和3年度検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上 を目的とした講習会	オンライン	西里
R4.2.2	実験動物管理者研修会	オンライン	須崎、浅井

R4.2.3、2.7	衛生検査システム操作研修	富士通Japan株式会社 川崎支店	佐々木(清)、浅井、赤木、盛崎、杉本、吉田、梅田、小林、三亀、佐野、栗田、赤星、田中、高居、牛山、淀谷、江原、安澤、福島、江崎、沼田、島山、西里
R4.2.14	結核指定医療機関等研修会	オンライン	丸山
R4.2.17～18	令和3年度 希少感染症診断技術研修会	オンライン	小嶋、三亀、若菜、西里
R4.2.24	株式会社アイスティサイエンス 第5回 「精製Part3」 GC-B法手動法の操作解説	オンライン	岸、佐野、江崎、沼田
R4.3.3	第26回国際結核セミナー	オンライン	赤木、西里
R4.3.7～8	地域保健総合推進事業発表会	オンライン	丸山
R4.3.8	第73回結核予防全国大会	オンライン	赤木、西里
R4.3.9	アジレントテクノロジー株式会社 ユーザーズミーティング:トリプル四重極 GC/MS	オンライン	江崎
R4.3.9	神奈川県衛生研究所 基礎研修「化学検査の基礎」	オンライン	沼田
R4.3.10	株式会社アイスティサイエンス 第6回 「精製Part4」 LC法手動法の操作解説	オンライン	岸、佐野、江崎、沼田
R4.3.11	令和3年度水道水質検査精度管理に関する研修会	オンライン	佐々木(清)、牛山、田中
R4.3.13	HPVワクチン研修会	AP新橋	岡部
R4.3.14	感染症危機管理研修会	オンライン	三崎、丸山、池田、廣富
R4.3.17	ジーエルサイエンス株式会社クロマト基礎セミナー祭り	オンライン	沼田

(3) 会議等出席実績

年月日	名称	場所	参加者
R3.4.1	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第1回)	オンライン	岡部
R3.4.1	ピーター・タン シンガポール大使・ランチオン会議	川崎キングスカイフロント東急REIホテル	岡部
R3.4.2	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.7	第29回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	厚生労働省	岡部
R3.4.8	第1回新型コロナウイルス感染症対策分科会	中央合同庁舎	岡部
R3.4.8	令和3年度第1回川崎市健康安全研究所動物実験委員会	健康安全研究所	須崎、小島、橋口、清水、浅井、赤星

R3.4.9	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第2回)	オンライン	岡部
R3.4.9	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.9	第55回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.4.10	第26回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.4.11	新型コロナウイルス感染症対策分科会	国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス	岡部
R3.4.13	第27回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.4.13	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.4.14	第35回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.14	第30回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.4.16	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第3回)	オンライン	岡部
R3.4.16	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R3.4.16	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.19	第36回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.20	第31回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	厚生労働省	岡部
R3.4.21	世界小児感染症学会(WSPID)オンライン会議	オンライン	岡部
R3.4.23	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第4回)	中央合同庁舎	岡部
R3.4.23	第56回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.4.23	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.4.23	東京オリンピック・パラリンピック事務局・組織委員会オンライン会議	オンライン	岡部
R3.4.24	第28回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.4.26	第10回茨城県新型コロナウイルス感染症対策対策協議会	オンライン	岡部
R3.4.27	第32回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.4.27~28	国際ワクチンシンポジウム	オンライン	岡部
R3.4.28	第7回東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議	総理官邸	岡部
R3.4.30	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	オンライン	岡部

R3.4.30	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.6	第33回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.5.6	第29回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.5.7	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第5回)	中央合同庁舎	岡部
R3.5.7	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.10	第37回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.11	慶應義塾大学・東邦大学 社会医学系専門医研修プログラム 令和3年度第1回プログラム管理委員会	オンライン	三崎
R3.5.12	令和3年度地方衛生研究所全国協議会第1回理事会	オンライン	岡部
R3.5.12	第34回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.5.12	第58回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.5.13	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.13	第30回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.5.14	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第6回)	オンライン	岡部
R3.5.14	令和3年度第1回神奈川県外部精度管理調査委員会	書面開催	牛山
R3.5.19	神奈川県公衆衛生協会令和3年度第1回企画・学術部会	オンライン	岡部
R3.5.19	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.19	第35回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.5.19	第31回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.5.20	令和3年度第2回薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会	オンライン	岡部
R3.5.21	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第7回)	オンライン	岡部
R3.5.21	第59回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.5.25	第32回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.5.25	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.5.26	第36回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.5.27	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部

R3.5.27	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	丸山
R3.5.28	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第8回)	中央合同庁舎	岡部
R3.5.28	第38回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.5.29	厚生労働科学研究(角野班)班会議	オンライン	岡部
R3.5.31	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種専門性を踏まえた対応の在り方等に関する検討会	厚生労働省	岡部
R3.6.1	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R3.6.1	学校における感染症等に関する実践集委員会	オンライン	岡部
R3.6.1	2021年度厚生労働省科学研究(前川班)班会議(第1回)	オンライン	淀谷、赤木、西里
R3.6.2	第37回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.6.3	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.6.4	令和3年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン	岡部
R3.6.4	令和3年度第1回食品防御対策検討会	オンライン	岡部、佐野、赤星
R3.6.8	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.6.8	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.6.9	第38回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.6.9	第61回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.6.9	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.6.10	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第9回)	書面開催	岡部
R3.6.10	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R3.6.11	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	晴海アイランドトリトンスクエア	岡部
R3.6.11	第33回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.6.15	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.6.15	厚生労働科学研究(島田班)第1回研究班会議	オンライン	三崎、丸山
R3.6.16	第39回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.6.16	第34回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部

R3.6.17	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第10回)	オンライン	岡部
R3.6.18	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	晴海アイランドトリトンスクエア	岡部
R3.6.18	第39回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.6.20	予防接種専門推進協議会	オンライン	岡部
R3.6.22~25	30th Meeting of the Technical Advisory Group (TAG) on Immunization and Vaccine-preventable Diseases in the Western Pacific Region	オンライン	岡部
R3.6.23	第40回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.6.30	第41回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.6.30	「食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究」第1回会議	オンライン	牛山
R3.7.1	第35回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.7.1	令和3年度第1回川崎市感染症対策協議会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、清水、丸山、池田、廣富
R3.7.1	令和3年度厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進事業 日本国内流通食品に検出される新興カビ毒の安全性確保に関する研究班第1回班会議	オンライン	橋口、浅井、佐藤
R3.7.2	第63回日本臨床ウイルス学会 第1回プログラム委員会	オンライン	三崎
R3.7.5	第36回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.7.7	第42回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.7.7	第37回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.7.7	第63回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.7.7	日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド」作成委員会	オンライン	三崎
R3.7.8	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第11回)	オンライン	岡部
R3.7.8	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.7.12	第45回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議	オンライン	岡部
R3.7.13	令和3年度川崎市予防接種運営委員会	ソリッドスクエア	岡部
R3.7.14	第43回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.7.16	第38回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.7.19	第12回茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会	オンライン	岡部
R3.7.20	第39回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部

R3.7.21	第44回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.7.21	第64回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.7.21	世界小児感染症学会(WSPID)幹事会	オンライン	岡部
R3.7.27	令和3年度指定都市衛生研究所長会議	書面開催	岡部
R3.7.28	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.7.28	第45回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.7.28	第40回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.7.30	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第12回)	オンライン	岡部
R3.7.30	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R3.8.2	令和3年度 研究・調査企画会議 事後評価部会(第1回)	食品安全委員会	岡部
R3.8.3	第41回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.8.4	第46回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議	オンライン	岡部
R3.8.4	第46回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.8.5	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第13回)	オンライン	岡部
R3.8.6	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.8.11	第47回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.8.12	新型コロナウイルス感染症の急拡大への対応に係わる市内病院連絡会議	オンライン	三崎
R3.8.17	第42回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.8.17	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第14回)	オンライン	岡部
R3.8.17	第42回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.8.18	令和3年度 研究・調査企画会議 事後評価部会(第2回)	食品安全委員会	岡部
R3.8.18	第48回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.8.19	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.8.20	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	晴海アイランドトリトンスクエア	岡部
R3.8.20	川崎南部医療圏新型コロナウイルスの治療業務に携わる関係者情報共有会議	オンライン	三崎

R3.8.23	第2回東京2020大会に関する感染症事例等情報交換会	オンライン	岡部、三崎、丸山
R3.8.24	神奈川県公衆衛生協会令和3年度第2回企画・学術部会	オンライン	岡部
R3.8.25	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第15回)	オンライン	岡部
R3.8.25	第49回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.8.25	第43回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.8.25	第67回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.8.30	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.8.30	厚生労働科学研究(調班)第1回研究会議	オンライン	岡部、三崎
R3.8.31	第43回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.9.1	第50回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.9.8	第51回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.9.9	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第16回)	オンライン	岡部
R3.9.9	第44回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.9.9	令和3年度地域保健総合推進事業に係る第1回関東甲信静ブロック会議	オンライン	橋口、佐々木(清)、浅井、赤星、江原
R3.9.13	第47回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議	オンライン	岡部
R3.9.13	HPVワクチンの安全性に関する研究 令和3年度班会議	オンライン	岡部、三崎
R3.9.15	令和3年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会会長会	オンライン	岡部
R3.9.16	第52回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.9.21	第45回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.9.22	WHO東南アジア地域認証委員会(SEARO RCC)	オンライン	岡部
R3.9.22	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	丸山
R3.9.27	第53回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.9.28	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第17回)	オンライン	岡部
R3.9.28	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	晴海アイランドトリトンスクエア	岡部
R3.9.28	厚生労働科学研究(五十嵐班)第1回研究会議	オンライン	岡部、三崎

R3.9.28	第13回茨城県新型コロナウイルス感染症対策対策協議会	オンライン	岡部
R3.9.29	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.10.1	第69回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.10.1	厚生労働科学研究「感染症法に基づく基本指針及び予防計画等の体制に関する研究」班会議	オンライン	岡部
R3.10.6	第54回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.10.8	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.10.13	第48回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議	オンライン	岡部
R3.10.13	令和3年度第1回川崎市感染症発生動向調査委員会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、清水、赤木、丸山、吉田、池田、廣富
R3.10.13	第55回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.10.20	第56回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.10.20	第47回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.10.20～22	WHO東南アジア地域ポリオ根絶地域認証委員会	オンライン	岡部
R3.10.21	町田市予防接種健康被害調査委員会	町田市保健所	岡部
R3.10.21	日本医療研究開発機構(鈴木班)第1回研究班会議	オンライン	岡部、三崎、丸山
R3.10.21	食品中の食品添加物分析法検討班第1回班会議	オンライン	浅井、栗田、江原
R3.10.22	第71回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R3.10.26	第57回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.10.27	第8回日経・FT感染症会議	ホテルニューオータニ東京	岡部
R3.10.29	指定都市結核感染症課課長会議	川崎市役所第3庁舎(収録)	岡部
R3.11.3	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R3.11.8	第10回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R3.11.8	AMED「新規なバイオ製造法を伴うワクチン等の高度な生産技術に関わる人材育成に資する教育プログラムの作成」研究班会議	オンライン	岡部
R3.11.9～11	WHO西太平洋地域ポリオ地域認証委員会(WHO WPRO Polio RCC Meeting)	オンライン	岡部
R3.11.9	第58回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.11.9	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部

R3.11.12	外務省国際保健政策会議	オンライン	岡部
R3.11.12	NGS情報交換会	オンライン	岡部、佐々木(国)
R3.11.13	厚生労働科学研究(角野班)班会議	オンライン	岡部
R3.11.15	文部科学省・学校保健会会議	オンライン	岡部
R3.11.16	第11回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R3.11.16	日本ウイルス学会理事会	オンライン	岡部
R3.11.17	第59回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.11.17	厚生労働科学研究「感染症法に基づく基本指針及び予防計画等の体制に関する研究」班会議	オンライン	岡部
R3.11.18	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R3.11.18	全国国立病院連盟総会	川崎市コンベンションホール	岡部
R3.11.22	第49回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.11.24	関東甲信静ブロック地域専門家会議	新都心ビジネス交流プラザ	佐々木(国)
R3.11.25	第60回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.11.25	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	丸山
R3.11.27	「医療構想と包括ケアの推進における保健所の役割についての研究」班会議	オンライン	岡部
R3.11.30	食品防御研究班現地調査	オンライン	佐野、赤星
R3.12.1	第61回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.12.6	東京2020大会における新型コロナウイルス対策のための専門家ラウンドテーブル	晴海アイランドトリトンスクエア	岡部
R3.12.6	第15回茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会	オンライン	岡部
R3.12.6	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.12.6	KAWASAKI地域感染制御協議会	ソリッドスクエア	三崎
R3.12.7	厚生労働科学研究「感染症法に基づく基本指針及び予防計画等の体制に関する研究」班会議	オンライン	岡部
R3.12.8	第62回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R3.12.8	2021年度厚生労働省科学研究(前川班)班会議(第2回)	オンライン	赤木、淀谷、西里
R3.12.9	WHO西太平洋地域ポリオ地域認証委員会(WHO WPRO Polio RCC Meeting)	オンライン	岡部

R3.12.9	AMED「麻疹・風疹排除のためのサーベイランス強化に関する研究」班会議	オンライン	岡部
R3.12.9	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R3.12.15	WHOワクチン安全性諮問委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R3.12.16	第63回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.12.17	第46回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会・第57回厚生科学審議会感染症部会	オンライン	岡部
R3.12.20	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R3.12.20	令和3年度第72回地方衛生研究所全国協議会総会	オンライン	岡部
R3.12.20	第50回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R3.12.21	港区感染症対策協議会委員会	オンライン	岡部
R3.12.21	文部科学省健康教育・食育課新型コロナウイルス会議	オンライン	岡部
R3.12.22	第64回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R3.12.23	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.12.24	第45回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R3.12.24	令和3年度地域保健総合推進事業に係る第2回関東甲信静ブロック会議	オンライン	橋口、佐々木(清)、浅井、赤星、江原
R3.12.28	第65回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	厚生労働省	岡部
R4.1.6	第66回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.1.7	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.1.13	第67回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.1.13	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.1.14	第51回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.1.16	山口県新型コロナウイルス対策本部会議	オンライン	三崎
R4.1.17	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.1.17	KAWASAKI地域感染制御協議会	ソリッドスクエア	岡部、三崎
R4.1.19	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第20回)	オンライン	岡部
R4.1.20	第46回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部

R4.1.20	第68回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.1.20	令和3年度第2回神奈川県外部精度管理調査委員会	オンライン	牛山
R4.1.20	食品防御研究班現地調査	オンライン	佐野、赤星
R4.1.24	東京都板橋区予防接種健康被害調査委員会	板橋区保健所	岡部
R4.1.24	世界小児感染症学会 (WSPID) 理事会	オンライン	岡部
R4.1.25	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会 (第21回)	オンライン	岡部
R4.1.25	第52回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.1.26	第50回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議	オンライン	岡部
R4.1.26	第69回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.1.27	公衆衛生情報協議会令和3年度第2回理事会	オンライン	岡部
R4.1.27	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.1.27	「食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究」第2回会議	オンライン	牛山、田中
R4.1.28	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.1.29	厚生労働科学研究(角野班)班会議	オンライン	岡部
R4.1.29	山口県新型コロナウイルス対策本部会議	オンライン	三崎
R4.2.2	令和3年度第2回川崎市予防接種運営委員会	オンライン	岡部
R4.2.2	第70回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.2.3	港区感染症対策協議会委員会	みなと保健所	岡部
R4.2.4	令和3年度第11回神奈川県感染症対策協議会	オンライン	岡部
R4.2.4	食品中の食品添加物分析法検討班第2回班会議	オンライン	浅井、栗田、江原
R4.2.6	2021年度厚生労働省科学研究(菅班)班会議(第1回)	オンライン	岡部、三崎、小嶋、赤木、丸山、淀谷、西里
R4.2.7	学校保健全国連絡協議会協議会	オンライン	岡部
R4.2.8	厚生労働科学研究(調班)第2回研究班会議	オンライン	岡部、三崎
R4.2.8	第53回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.2.9	第71回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部

R4.2.10	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第47回)	オンライン	岡部
R4.2.10	小児科学会予防接種感染対策委員会	日本小児科学会事務局	岡部
R4.2.14	令和3年度第2回食品防衛対策検討会	オンライン	岡部、佐野、赤星
R4.2.16	第72回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.2.18	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第24回)	オンライン	岡部
R4.2.18	第76回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.2.22	千葉大学真菌医学研究センター運営協議委員会	オンライン	岡部
R4.2.24	文部科学省・学校保健会冊子編集委員会	オンライン	岡部
R4.2.24	第73回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.2.24	川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	オンライン	岡部
R4.2.25	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.3.2	第74回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.3.2	神奈川県感染症発生動向調査解析委員会	オンライン	岡部、三崎、丸山、池田、廣富
R4.3.2	感染症対策協議会	オンライン	小嶋、清水
R4.3.3	第54回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.3.4	令和3年度結核対策推進会議	オンライン	赤木、西里
R4.3.4	令和3年度度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会微生物情報部会	オンライン	小嶋、清水、赤木、吉田、三亀、淀谷、西里
R4.3.9	AMED「新規なバイオ製造法を伴うワクチン等の高度な生産技術に関わる人材育成に資する教育プログラムの作成」研究班会議	オンライン	岡部
R4.3.9	第75回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.3.10	日本小児科学会予防接種感染対策委員会	オンライン	岡部
R4.3.10	厚生労働科学研究(島田班)第2回研究班会議	オンライン	三崎、丸山
R4.3.10	2021年度 第2回神奈川県感染症医学会理事会	崎陽軒本店	三崎
R4.3.11	新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.3.12	令和3年度地域保健総合推進事業「自治体における新型コロナウイルス感染症対策に関する調査研究」第6回研究班会議	ホテルオーシャン(那覇市)	岡部
R4.3.15	第76回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部

R4.3.16	川崎市医療5団体協議会	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.3.16	令和3年度厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進事業 日本国内流通食品に検出される新興カビ毒の安全性確保に関する研究班第2回班会議	オンライン	浅井、佐藤
R4.3.17	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第26回)	オンライン	岡部
R4.3.17	第48回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.3.18	第77回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.3.18	中野区予防接種健康被害調査委員会	中野区保健所	岡部
R4.3.23	第77回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.3.24	麻しん風しん排除認定委員会	オンライン	岡部
R4.3.25	厚生労働科学研究(五十嵐班)第2回班会議	オンライン	岡部、三崎
R4.3.25	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.3.25	神奈川県公衆衛生協会企画・学術部会会議	オンライン	岡部
R4.3.25	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会+オンライン	岡部、丸山
R4.3.29	令和3年度第2回川崎市健康安全研究所動物実験委員会	健康安全研究所	須崎、小嶋、清水、浅井、赤星
R4.3.30	川崎市新型コロナウイルス感染症会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.3.30	令和3年度第2回川崎市感染症発生動向調査委員会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、清水、赤木、丸山、吉田、池田、廣富
R4.3.30	第78回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.3.30~31	Vaccine Virtual Day 2022	オンライン	岡部

(4) 講師派遣実績

年月日	名称	会場	講師名
R3.4.12	第23期実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修	国立感染症研究所	岡部
R3.4.13	新型コロナウイルス感染症対策研修会	神奈川県庁	三崎
R3.4.15	第23期実地疫学専門家養成コース初期導入研修	国立感染症研究所	三崎
R3.4.19	東京大学医学部公衆衛生学講義	オンライン	岡部
R3.5.10	北里大学生命科学研究所感染症講義	北里大学	岡部

R3.5.14	かわさき市民アカデミー・地域協働講座	川崎市生涯学習プラザ	岡部
R3.5.24	名古屋大学医学部感染症講義	オンライン	岡部
R3.5.24	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	オンライン	三崎
R3.5.25	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	多摩区役所	三崎
R3.5.28	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	麻生休日急患診療所	三崎
R3.6.1	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	幸区役所	三崎
R3.6.3	神奈川ワクチンミーティング	武田薬品横浜事務所	三崎
R3.6.8	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	高津区役所	三崎
R3.6.9	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	川崎休日急患診療所	三崎
R3.6.10	衛生微生物技術協議会第41回研究会シンポジウムⅡ(サーベイランス)	オンライン	丸山
R3.6.17	QOLサポート研究会講演会	ミュージア川崎	岡部
R3.6.17	感染症対策研修会	川崎区保育・子育て総合支援センター	三崎
R3.7.1	川崎市感染症在宅療養患者等支援事業研修	宮前区役所	三崎
R3.7.9	第1回学校保健研修	横浜市役所、オンライン	岡部
R3.7.12	神奈川県立保健福祉大学感染症講義	オンライン	岡部
R3.7.21	神奈川県市議会事務局長研修会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R3.9.1	栃木県公衆衛生研修	オンライン	岡部
R3.9.3	文部科学省・学校保健会研修	オンライン	岡部
R3.9.3	自立支援センターPPE着脱訓練	川崎区役所	三崎
R3.9.7	文部科学省健康教育指導者研修	オンライン	岡部
R3.9.14	慶応大学公衆衛生実践プログラム	オンライン	岡部
R3.9.16	川崎市立看護短期大学特別講義	川崎市立看護短期大学	三崎
R3.9.19	第36回日本環境感染学会総会・学術集会シンポジウム6 (One Health)	名古屋国際会議場	三崎
R3.10.3	第62回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会講演	書面開催	岡部
R3.10.6	投票所における感染症対策研修会	中原区役所	三崎

R3.10.9	第53回日本小児感染症学会総会・学術集会シンポジウム1 (COVID-19出現で、他の感染症の疫学はどのように変わったか)	京王プラザホテル	三崎
R3.10.15	新型コロナウイルス感染拡大における緊急避難場所運営研修	中原区役所	三崎
R3.10.21	聖マリアンナ医科大学感染症地域医療講義	オンライン	岡部
R3.10.22	児童相談所一時保護所の新型コロナウイルス感染症対策	中部児童相談所/こども家庭センター	三崎
R3.10.27	保健委員の集い	川崎市立麻生中学校	三崎
R3.11.13	大阪大学大学院公衆衛生講義	オンライン	岡部
R3.11.15	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第11回公衆衛生情報研究部会研究会	オンライン	三崎
R3.11.18	第68回日本ウイルス学会学術集会 ICD講習会	神戸国際会議場 メインホール	三崎
R3.11.27	ワーカーズアクション2021	川崎フロンティアビル	三崎
R3.12.13	川崎市民生児童委員協議会研修会講義	エポック中原	岡部
R3.12.16	児童相談所における新型コロナウイルス感染症対応研修	こども家庭センター	三崎
R3.12.17	令和3年度感染症集団発生対策研修	国立保健医療科学院	三崎
R3.12.22	第80回日本公衆衛生学会総会自由集会21 感染症情報の現状と展望を考える会(感染症情報の収集と発信のために)	京王プラザホテル	丸山
R3.12.23	横浜市立大学医学部講義	オンライン	岡部
R4.1.7	危機管理室避難所運営検討会議	第3庁舎	三崎
R4.1.13	令和3年度ひとり親家庭等日常生活支援事業子育てサポーター養成研修	川崎市母子・父子センター	三崎
R4.1.28	令和3年度学校保健全国連絡協議会	国立オリンピック記念青少年総合センター	岡部
R4.2.4	第63回大都市社会福祉施設協議会(川崎市大会)種別研究会	オンライン	岡部
R4.2.5	山口県新型コロナウイルス感染症の医療機関クラスター対策研修会	オンライン	三崎
R4.2.9	キングスカイフロントに関するセミナー(看護・ケア現場からのイノベーションの創出)	川崎キングスカイフロント 東急REIホテル	岡部
R4.2.15	川崎中ロータリークラブ卓話	ホテル精養軒	三崎
R4.2.16	横浜市医師会予防接種研修会	横浜市医師会	岡部
R4.2.24	令和3年度麻生区地域課題対応事業「感染症講演会」	麻生区役所	三崎
R4.2.28	茨城県衛生研究所研修会	オンライン	岡部

R4.3.8	第73回結核予防全国大会研鑽集会シンポジウム	オンライン	岡部
R4.3.10	市立川崎高等学校付属中学校講義	オンライン	岡部
R4.3.11	令和3年度高津区全町内会連合会町会長研修会	高津区役所	岡部
R4.3.13	ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会	AP新橋、オンライン	岡部

(5) 研修指導実績

年月日	内容	対象	人数
R3.4.8	動物実験委員会についての職員説明会	動物実験新任職員 等	2名
R3.7.12	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	16名
R3.7.16	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	10名
R3.11.1	疫学ミーティング	川崎区役所地域みまもり支援センター等職員	13名
R3.11.2	疫学ミーティング	高津区役所地域みまもり支援センター等職員	11名
R3.11.29	疫学ミーティング	幸区役所地域みまもり支援センター等職員	12名
R3.12.1	第1回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名
R3.12.8	第2回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名
R4.1.6	第3回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名
R4.1.13	第4回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	2名
R4.1.19	第5回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名
R4.1.26	第6回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名
R4.2.2	第7回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	2名
R4.2.9	第8回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名
R4.3.2	第9回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	1名

(6) 視察・見学・講義等受け入れ実績

年月日	名称	人数
R3.7.26	川崎総合科学高校	38名
R3.7.27	社会学系専門医(産業医)研修	1名
R3.9.7	獣医学生インターンシップ	1名
R3.11.2	駐日トルクメニスタン大使	3名
R3.11.9	名古屋市中保健所医師	3名
R3.11.9	滋賀県保健師	1名
R3.12.2	日本共産党川崎市議会議員団	15名
R4.2.14	川崎病院臨床研修医	10名
計	9件	72名

(7) 研修報告会開催実績

当研究所職員が出席した学会や研修会等の内容を所内で情報共有するとともに、プレゼンテーション能力の向上を目的として、研修報告会を原則月1回開催している。

令和3年度研修報告会開催実績

開催日	報告内容	報告者
R3.4.22	検査能力・精度管理等の向上を目的とした講習会(地衛研基礎講習) 廃液について 保健情報システムについて	福島、荒井(千) 佐々木(清) 浅井
R3.6.28	高压ガスの取り扱いについて 日本感染症学会 川崎市保健情報システムにおける衛生検査業務追加作業対応 新倫理指針について 新型コロナウイルス感染症の状況について	岸 淀谷、廣富 浅井 三崎、杉本 岡部
R3.7.29	保健師・看護師等基礎実践コース 第96回日本結核・非結核性抗酸菌症学会	西里 小嶋、赤木
R3.8.11	新型コロナウイルス対策について (オリンピック期間中のバブル内での感染チェックとその結果、アドバイザーボード)	岡部
R3.9.16	日本臨床ウイルス学会 保健情報システム	駒根 浅井
R3.10.14	新型コロナウイルス感染症の現状	岡部、三崎
R3.11.11	日本小児感染症学会 第35回関東甲信静支部ウイルス研究部会 日本防菌防黴学会 年次大会 日本食品微生物学会	廣富 夏井 淀谷 吉田
R3.12.16	日本感染症学会東日本地方会 NGS情報交換会・関東甲信静ブロック地域専門家会議 アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する講習会 第58回全国衛生化学技術協議会年会 保健情報システムについて	西里 佐々木(国) 駒根 江原 浅井
R4.1.20	新型コロナウイルス感染症について(川崎市モニタリングや国会議からのピックアップ情報) 日本公衆衛生学会 新型コロナウイルス感染症について(オミクロン株に関する情報等)	岡部 池田 三崎
R4.2.10	日本臨床微生物学会 検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした講習会 衛生検査基礎技術研修 日本ワクチン学会	荒井(千) 西里 西里 池田
R4.3.7	日本性感染症学会 関東甲信静細菌研究部会 希少感染症診断技術研修会	廣富 三亀 若菜

【第2章 業務実績】

1 企画調整部門

(1) 企画調整担当

企画調整担当の主な業務は、各種調査研究評価委員会の開催、調査研究に係る企画及び連絡調整、試験検査に係る信頼性確保業務、情報発信業務である。

ア 調査研究評価委員会等の運営

(7) 内部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、内部評価委員会を開催した。

内部評価委員会は、当該年度に当研究所で実施の「全研究課題」について、委員である当研究所職員が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和3年度の開催概要は表のとおりである。

(4) 外部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、外部評価委員会を開催した。

外部評価委員会は、内部評価委員会で評価された研究課題のうち、「特に重要な研究課題」について、委員である当研究所職員及び本庁関係課職員並びに外部研究機関の有識者が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和3年度の開催概要は表のとおりである。

(7) 倫理審査委員会

川崎市健康安全研究所倫理審査委員会設置要綱に基づき、倫理審査委員会を開催した。

倫理審査委員会は、当該年度に新たに計画された「人を対象とする医学系研究」について、委員である当研究所職員及び外部の有識者が、倫理指針等に基づき倫理的観点及び科学的観点からその実施の適否に係る審査を行うもので、令和3年度の開催概要は表のとおりである。

表 令和3年度調査研究評価委員会等開催概要

年月日	委員会	課題数
R3.5.19 R3.5.25 R3.5.26 R3.6.28	内部評価委員会(研究計画の評価)	32
R3.6.28	外部評価委員会(研究計画の評価)	8
R3.7.8	倫理審査委員会	4
R4.2.21 R4.2.25 R4.2.28	内部評価委員会(研究結果の評価)	32
R4.3.28	外部評価委員会(研究結果の評価)	8

イ 食品衛生検査の信頼性確保業務

食品衛生検査の信頼性確保部門として、収去施設及び食品衛生検査施設に対し次の業務を行った。なお、不適とされたものについては適宜、改善指導を行った。

(7) 内部点検

収去施設(全7区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課、保健所食品安全課(食品専門監視担当)並びに食品衛生検査施設(健康安全研究所及び保健所中央卸売市場食品衛生検査所)に対し、内部点検を実施した。

内部点検では、標準作業書の作成状況や機械器具の管理等が適切に実施されているかの確認を行った。

(4) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(7) 外部精度管理調査

毎年度、健康安全研究所及び中央卸売市場食品衛生検査所では、一般財団法人食品薬品安全センターが実施する外部精度管理調査に参加し、客観的な評価を受けている。

令和3年度は、食品添加物や残留農薬等の理化学検査、一般細菌数や大腸菌群等の微生物検査、動物を用いる検査に係る調

査に参加し、結果の確認を行った。

ウ 病原体等検査の信頼性確保業務

病原体等検査の信頼性確保部門として、病原体等検査施設(健康安全研究所)に対し次の業務を行った。なお、食品衛生検査の信頼性確保業務と同様に、不適とされたものは適宜、改善指導を行った。

(7) 内部監査

内部監査では、標準作業書の作成状況や試験検査に係る書類の作成、機械器具の管理等が適切に行われているかの確認を行った。

(4) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(5) 外部精度管理調査

令和3年度は、厚生労働省が実施する新型コロナウイルスの核酸検出検査(リアルタイムRT-PCR法)、チフス菌・パラチフスA菌の同定検査、厚生労働科学研究の研究班の協力依頼に基づくレジオネラ属菌検査及び結核VNTR遺伝子型別の外部精度管理調査に参加し、結果の確認を行った。

エ 情報発信業務

主にホームページを用いて健康安全研究所の取組内容の情報発信を行っている。ホームページを用いた定期的な情報発信業務としては、「検査情報」を作成・掲載しており、理化学部門及び微生物部門が実施する日常の試験検査実績を、市民にとってわかりやすい体裁に配慮し取りまとめている。令和3年度は理化学検査情報を3回、微生物検査情報を4回作成し公開した。

(2) 感染症情報センター担当

感染症情報センターの役割は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、「感染症法」という。)」に基づく感染症発生動向調査事業実施要綱に規定されており、「各都道府県等域における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集、分析し、都道府県等の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとして、各都道府県等域内に1か所、原則として地方衛生研究所の中に設置する。」と明記されている。

川崎市では、平成25年2月まで、健康福祉局健康安全室(現在の健康福祉局保健医療政策部)に感染症情報センターを設置し、「川崎市感染症発生動向調査事業実施要領」に基づき感染症発生動向調査事業を実施してきたが、平成25年3月、感染症情報センター機能を健康安全研究所に移管し、従来から実施してきた業務に加えて、感染症情報発信システムの運用や疫学研究等を行い、機能強化を図っている。また、市内における健康危機事象発生時の初動体制及びネットワークを構築するため、FETP*—Kawasakiプランに基づく取組を行っている。

*FETP:Field Epidemiology Training Program

<感染症発生動向調査事業>

感染症発生動向調査事業は、感染症情報センターの主たる業務であり、前述の感染症発生動向調査事業実施要綱により規定されている。

本事業では、医療機関から届出等される対象疾患について、国、県、指定都市の感染症情報センター等を結んで、感染症発生動向調査情報ネットワークを形成し、全国的な規模で感染症の流行状況の把握、患者発生情報及び検査情報の収集、解析、還元を行っている。市内では、健康福祉局保健医療政策部及び各区役所地域みまもり支援センター等と連携しながら、患者情報等の収集・解析を行い、関係機関に対して感染症情報を迅速に発信するとともに、市民に対しては広報紙「今、何の病気が流行しているか!」やメールマガジン等を毎週定期的に発行している。

ア 全数把握疾患の発生状況(表1~3)

一類感染症の届出はなかった。

二類感染症では、結核227件の届出があり、

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MERS)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。

三類感染症では、腸管出血性大腸菌感染症47件の届出があり、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス及びパラチフスの届出はなかった。腸管出血性大腸菌感染症については、令和3年5月に、市内の焼肉店が提供した食事を原因とする食中毒が発生し、有症者5名のうち4名の検便から腸管出血性大腸菌O157が検出された。

四類感染症では、E型肝炎15件、A型肝炎2件、デング熱1件、ボツリヌス症1件、レジオネラ症21件の届出があった。ボツリヌス症については、国立感染症研究所において、便検体からボツリヌス毒素が検出され、A型ボツリヌス毒素を産生するボツリヌス菌が分離されたことから、乳児ボツリヌス症として届出があった。

五類感染症では、アメーバ赤痢14件、ウイルス性肝炎6件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症29件、急性弛緩性麻痺1件、急性脳炎12件、クロイツフェルト・ヤコブ病1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4件、後天性免疫不全症候群12件、ジアルジア症2件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症16件、水痘(入院例に限る。)5件、梅毒65件、播種性クリプトコックス症2件、破傷風1件、百日咳6件の届出があった。梅毒については、48件であった前年と比べて報告数が増加した。性別では男性が41件、女性が24件であり、年齢階級別では、男性は20歳代から40歳代の報告が多く、女性は20歳代及び30歳代の報告が多かった。

また、新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として3,377件、新型インフルエンザ等感染症として31,834件の計35,211件の届出があった。患者が30,846件、無症状病原体保有者が4,363件、死亡後診断が2件であり、性別では男性が20,330件、女性が14,881件であった。

表1 届出数（一～三類感染症、指定感染症及び新型インフルエンザ等感染症患者等届出数）

令和3年

	総数	一類感染症	二類感染症		三類感染症					指定感染症	新型インフルエンザ等感染症
		エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱	急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS、MERS、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	新型コロナウイルス感染症	
令和元年	344	-	-	314	-	1	27	2	-		
令和2年	5,145	-	-	250	-	1	34	1	-	4,859	
令和3年	35,485	-	-	227	-	-	47	-	-	3,377	31,834
川崎幸	14,015	-	-	71	-	-	10	-	-	881	13,053
	3,122	-	-	22	-	-	7	-	-	461	2,632
中原	4,251	-	-	23	-	-	10	-	-	489	3,729
高津	4,016	-	-	26	-	-	5	-	-	422	3,563
宮前	3,862	-	-	36	-	-	12	-	-	407	3,407
多摩	3,887	-	-	23	-	-	2	-	-	436	3,426
麻生	2,332	-	-	26	-	-	1	-	-	281	2,024

※SARS：重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）

※MERS：中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）

※新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日から指定感染症、令和3年2月13日から新型インフルエンザ等感染症となった。

※新型コロナウイルス感染症は陽性者数を計上（令和4年11月10日時点）

表2 届出数（四類感染症患者等届出数）

令和3年

	総数	四類感染症				
		E型肝炎	A型肝炎	デング熱	ボツリヌス症	レジオネラ症
総数	40	15	2	1	1	21
川崎幸	7	1	1	-	-	5
	3	3	-	-	-	-
中原	8	3	1	-	-	4
高津	4	-	-	1	-	3
宮前	13	7	-	-	1	5
多摩	3	1	-	-	-	2
麻生	2	-	-	-	-	2

※その他の四類感染症の届出はなかった。

表3 届出数（五類感染症（全数把握疾患）患者等届出数）

令和3年

	総数	五類感染症							
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
総数	177	14	6	29	1	12	1	4	12
川崎	60	5	3	1	-	1	-	1	8
幸	10	2	-	-	-	-	-	-	-
中原	40	2	1	13	1	4	-	2	2
高津	15	1	2	3	-	-	-	1	-
宮前	28	2	-	6	-	7	1	-	-
多摩	7	1	-	1	-	-	-	-	2
麻生	17	1	-	5	-	-	-	-	-
	総数	五類感染症							
		ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例に限る。)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	百日咳
総数		2	1	16	5	65	2	1	6
川崎		-	-	2	2	37	-	-	-
幸		2	-	-	-	6	-	-	-
中原		-	1	6	-	8	-	-	-
高津		-	-	2	1	3	1	-	1
宮前		-	-	4	1	6	1	-	-
多摩		-	-	-	1	2	-	-	-
麻生		-	-	2	-	3	-	1	5

※その他の五類感染症の届出はなかった。

イ 定点把握疾患の発生状況（表4）

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くの疾患で令和2年に引き続き報告数が減少した。

特にインフルエンザについては、年間を通して極めて低いレベルで推移し、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて0.0009倍と大幅に減少した。

なお、RSウイルス感染症については、5月中旬以降患者報告数が急増し、5月下旬から7月中旬にかけて例年よりかなり高いレベルで推移した。第27週（7月第2週）には定点当たり患者報告数が8.76人と平成15年のデータ収集開始以降最大の報告数となった。

性感染症定点対象疾患の報告数については、令和3年はいずれの疾患も過去5年平均と比べてやや増加し、特に性器ヘルペスウイルス感染症の報告数が多かった。

性器ヘルペスウイルス感染症については、定点当たり患者報告数が0.72人と、過去5年平均の1.18倍となり、過去5年間と比較して最大の報告数であった。年間を通して例年よりやや高いレベルで推移したが、特に7月及び10月の報告数が多かった。

表 4 五類感染症（定点把握疾患）の発生状況

【小児科定点、内科定点、眼科定点対象疾患】

令和 3 年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	11,684	478	487	528	918	1,079	1,915	1,924	514	630	656	928	1,627
水痘	268	18	20	23	17	29	36	23	10	12	13	28	39
流行性耳下腺炎	107	4	8	7	9	6	5	19	9	11	8	11	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,008	68	72	86	124	59	84	112	59	44	80	82	138
感染性胃腸炎	5,869	306	298	302	569	584	621	543	246	379	350	480	1,191
手足口病	395	-	4	1	1	6	10	13	17	22	56	151	114
伝染性紅斑	29	3	1	3	1	2	-	3	1	-	-	11	4
突発性発しん	765	55	59	65	82	64	70	69	47	77	53	57	67
ヘルパンギーナ	282	1	2	1	1	1	2	15	18	48	74	84	35
咽頭結膜熱	151	17	9	4	5	24	31	21	6	6	7	4	17
RSウイルス感染症	2,668	2	1	8	99	287	1,050	1,100	95	16	4	4	2
インフルエンザ	14	3	1	1	-	-	-	-	-	-	2	6	1
流行性角結膜炎	128	1	12	27	10	17	6	6	6	15	9	10	9
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【基幹定点、性感染症定点対象疾患】

令和 3 年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	819	68	63	77	71	72	64	74	70	70	81	55	54
細菌性髄膜炎	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
無菌性髄膜炎	4	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院サーベイランス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
淋菌感染症	143	11	9	11	12	15	16	16	8	13	14	9	9
性器クラミジア感染症	416	36	34	38	42	32	34	33	39	35	41	30	22
性器ヘルペスウイルス感染症	104	10	8	11	5	10	6	12	10	3	12	7	10
尖圭コンジローマ	97	9	4	10	11	10	5	8	7	13	9	2	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	39	-	7	5	1	3	2	3	4	5	3	5	1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10	1	1	-	-	2	-	1	1	1	1	1	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

ウ 集団施設における感染症発生情報（表 5）

学校保健安全法に規定される対象疾患により出席停止となった患者数について、小学校及び中学校からの報告数を集計することにより、集団施設における感染症発生状況を解析し、関係機関、市民等へ発信している。なお、保育園については、学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報を集計している。

令和 3 年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和 2 年に引き続き、多くの疾患で報告数が減少した。

特にインフルエンザ様疾患については、1月に保育園から 1 件、11 月及び 12 月に小学校から各 1 件の計 3 件のみの報告であった。

また、小学校及び中学校においては、その他に新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者及びその他関連による出席停止が含まれており、その他全体の 98.9%を占めた。

表5 集団施設における感染症発生情報

令和3年

		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	総数	93,639	6,886	5,439	4,940	4,483	5,571	6,984	4,490	257	23,243	14,296	10,268	6,782
	保育園	5,597	173	122	179	511	718	1,235	833	257	435	294	380	460
	小学校	66,302	5,231	4,105	3,763	3,425	4,036	4,916	3,137	-	16,653	8,363	7,164	5,509
	中学校	21,740	1,482	1,212	998	547	817	833	520	-	6,155	5,639	2,724	813
百日咳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ様疾患	総数	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	保育園	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻疹	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	総数	252	17	20	14	27	29	28	26	8	28	18	26	11
	保育園	72	5	3	5	6	4	5	15	8	8	4	6	3
	小学校	170	12	16	9	20	24	22	10	-	17	13	19	8
	中学校	10	-	1	-	1	1	1	1	-	3	1	1	-
水痘	総数	525	32	31	36	45	74	97	44	11	24	30	42	59
	保育園	175	6	10	14	14	17	29	16	11	3	6	16	33
	小学校	337	24	21	21	29	56	63	27	-	21	24	25	26
	中学校	13	2	-	1	2	1	5	1	-	-	-	1	-
風しん	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	総数	88	8	9	4	5	12	13	6	7	2	3	4	15
	保育園	49	5	3	2	4	5	5	3	7	1	-	2	12
	小学校	32	3	4	1	1	6	7	2	-	1	2	2	3
	中学校	7	-	2	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-
急性出血性結膜炎	総数	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	保育園	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	総数	148	6	9	6	4	24	39	25	8	3	6	4	14
	保育園	145	6	9	6	4	23	38	25	8	3	5	4	14
	小学校	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	総数	92,621	6,822	5,370	4,879	4,402	5,432	6,806	4,389	223	23,186	14,239	10,191	6,682
	保育園	5,154	150	97	151	483	669	1,158	774	223	420	279	352	398
	小学校	65,758	5,192	4,064	3,732	3,375	3,949	4,823	3,098	-	16,614	8,323	7,117	5,471
	中学校	21,709	1,480	1,209	996	544	814	825	517	-	6,152	5,637	2,722	813

※保育園は学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報

* 小学校及び中学校のその他は、新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者及びその他関連による出席停止を含む。

**新型コロナウイルス感染症の流行に伴う夏季休業期間延長により、8月は小学校及び中学校の報告なし

2 理化学部門

(1) 食品担当

食品衛生法及び食品表示法に基づく食品中の食品添加物検査、成分規格検査、遺伝子組換え食品検査、特定原材料検査、自然毒及び化学物質検査並びに苦情食品検査等を担当している。令和3年度は、保健所食品安全課、各区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課、中央卸売市場食品衛生検査所及び港湾局から搬入された食品等96検体、259項目について検査を実施した。(表1)

なお、令和3年度は、コロナ禍等の影響により、成分規格検査に係る検体は搬入されなかった。

また、保健所へ苦情として届けられたもののうち、食品担当宛て検体が搬入された事例はなかった。

ア 食品添加物検査

食品添加物の使用基準及び表示基準に関する項目について、延べ206項目(保存料、着色料、酸化防止剤等)の検査を実施した。(表2)

イ 遺伝子組換え食品検査

米加工品、ばれいしょ加工品、魚介類加工品及びその他の食品計8検体について遺伝子組換え食品検査を実施した。結果は全て陰性であった。(表3)

ウ 特定原材料検査

特定原材料の使用表示のない食品について、乳を対象に1検体、小麦を対象に1検体及び卵を対象に3検体の特定原材料検査を実施した。スクリーニング検査の結果は、全ての検体で陰性又は10 μ g/g未満であった。(表4)

エ 自然毒及び化学物質検査

東扇島東公園人工海浜に自生する二枚貝及び市内流通食品、計8検体について貝毒検査を実施した。また、フグ毒検査を2検体、カビ毒検査を1検体及びヒスタミン検査を8検体実施した。(表5)

また、検査精度確保のため、(一財)食品薬品安全センターが実施する「食品衛生外部精度管理調査」に参加し食品添加物(着色料、ソルビン酸)、及び麻痺性貝毒の検査、「遺伝子組換え食品検査の外部精度管理調査」に参加し安全性未審査の遺伝子組換えコメの検査、及び「食品表示に関する外部精度管理調査」に参加し特定原材料(卵)の検査、(株)森永生科学研究所主催の「第6回食物アレルギー物質検査精度管理サーベイ」に参加し特定原材料(卵及び牛乳)の検査、並びに(一社)AOAC日本主催の「2021技能試験(理化学試験)」に参加しヒスタミンの検査を実施した。

そして、地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック精度管理事業で実施された、有毒植物の誤食による食中毒を想定した模擬訓練にも参加した。

さらに、関係機関の調査研究に係る検査に関して、(一財)食品薬品安全センターからの依頼による「特定原材料検査における外部精度管理調査研究」(検査項目:牛乳)について協力を行った。

表1 食品化学検査内訳

検査内容	項目数
食品添加物検査	206
遺伝子組換え食品検査	8
特定原材料検査	5
自然毒・化学物質検査	27
その他の検査	13
総計	259

表 2 食品添加物検査内訳

検査内容		項目数
保存料	安息香酸	30
	ソルビン酸	39
	パラオキシ安息香酸エステル類	15
着色料	許可酸性タール色素	26
発色剤	亜硝酸根	12
甘味料	サッカリン	10
	アセスルファムカリウム	10
漂白剤	亜硫酸塩	12
酸化防止剤	ブチルヒドロキシアニソール	3
	ジブチルヒドロキシトルエン	3
品質保持剤	プロピレングリコール	4
防かび剤	イマザリル	2
	オルトフェニルフェノール	1
	ジフェニル	1
	チアベンダゾール	2
その他の添加物	ナタマイシン	1
不許可添加物	サイクラミン酸(甘味料)	14
	TBHQ(酸化防止剤)	6
	アゾルビン(着色料)	6
	スーダンⅠ(着色料)	1
	スーダンⅡ(着色料)	1
	スーダンⅢ(着色料)	1
	スーダンⅣ(着色料)	1
	パラレッド(着色料)	1
	キノリンイエロー(着色料)	4
総計		206

表 3 遺伝子組換え食品検査結果

品目	検体数	検査対象	安全性	試験方法	結果	
					陰性	
米加工品	2	遺伝子組換えコメ (63Bt、NNBt、CpTI)	未審査	定性 PCR	陰性	2
菓子	2	遺伝子組換えバレイショ (F10、J3)	未審査	定性 PCR	陰性	2
魚介類加工品	3	遺伝子組換えサケ (AquAdvantage)	未審査	定性 PCR	陰性	3
ふりかけ	1		未審査	定性 PCR	陰性	1

表4 特定原材料スクリーニング検査結果

検査対象	品目	検体数	試験方法	結果
牛乳	洋菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 牛乳	10 μ g/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ牛乳(カゼイン)	不検出
小麦	漬物	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 小麦	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ小麦(グリアジン)	不検出
卵	ベーグル	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	食パン	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	10 μ g/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	10 μ g/g未満
	漬物	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出

試験方法:1 検体につき2種類のキットを用いて検査を実施し、いずれか1種でも10 μ g/g以上検出された場合、スクリーニング検査陽性となる。

表5 自然毒及び化学物質検査結果

品目	検体数	自然毒分類	検査項目	結果	
アサリ	7	貝毒	麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	7
			下痢性貝毒	不検出	7
ハマグリ	1		麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	1
			下痢性貝毒	不検出	1
フグ加工品	2	フグ毒	フグ毒	5 MU/g 以下	2
りんごジュース	1	カビ毒	パツリン	不検出	1
魚介類	4	化学物質	ヒスタミン	不検出	4
魚介類加工品	4			不検出	4

(2) 水質・環境担当

「水道法」に基づく貯水槽水等の水質検査、「災害時における飲料水及び生活用水の供給源としての井戸及び受水槽の有効活用に関する要綱」に基づく災害用井戸水検査、「神奈川県水浴場等に関する条例」に基づくプール水検査、「川崎市公衆浴場法施行条例」及び「川崎市旅館業法施行条例」に基づく浴槽水検査及びシャワー水検査、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づく家庭用品検査、「食品衛生法」に基づく食品の成分規格等検査のほか、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき健康食品等に含まれる医薬品成分（無承認無許可医薬品）検査等を担当している。

令和3年度は保健所生活衛生課、食品安全課、医事・薬事課、各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）衛生課から搬入された検体について検査を実施した。

また、厚生労働省が実施する水道水質検査精度管理のための統一試料調査（塩素酸、四塩化炭素、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン）、神奈川県が実施する外部精度管理調査（鉄及びその化合物、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸）に参加し、信頼性確保に係る検査を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りながらも可能な範囲で飲料水やプール水等の検査を実施したことにより、検査実績数は前年度と比較して増加した。

ア 飲料水検査

令和3年度に検査を実施した飲料水は、90検体で検査検体の内訳としては、井戸水（災害用選定の生活用水井戸）86件、小規模水道水2件、専用水道水2件だった。（表1）

イ プール水、浴槽水等検査

市内プール水（採暖槽水を含む）59検体、浴槽水70検体、シャワー水2検体、計131検体について検査を実施した。（表2）

ウ 家庭用品検査

市販の家庭用品132検体（1検体で複数項目を検査する場合もあり、試買件数としては108

件）について13項目の有害物質等の検査を実施したところ、全て基準に適合していた。（表3）

エ 清涼飲料水の規格基準検査

清涼飲料水（ジュース、ミネラルウォーター等）5検体、粉末清涼飲料1検体について5項目〔混濁、沈殿物又は固形の異物、ヒ素、鉛、スズ（金属製容器包装入りのものに限る）〕の規格検査を実施したところ、全て基準に適合していた。

オ 豆類、生あんの規格基準検査

ベビーライマ豆1検体及び生あん1検体についてシアン化合物の規格検査を実施したところ、基準に適合していた。

カ 魚介類の環境汚染物質検査

多摩川で採取したアユ3検体について金属類等の環境汚物質検査を実施した。（表4）

キ 医薬品成分検査

市販の健康食品16検体及びローション類（外用）1検体について、医薬品成分16項目の検査を実施した。（表5）

表1 飲料水検査結果

種類	災害用井戸水 (生活用水)※	貯水槽水	小規模水道水	専用水道水	その他	計	
検体数	86 (90)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	90 (90)	
不適合件数	50 (42)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	50 (42)	
不 適 合 項 目 件 数	亜硝酸態窒素	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	鉄及びその化合物	19 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (15)
	塩化物イオン	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	pH値	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	味	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	臭気	2 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (6)
	色度	14 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (10)
	濁度	11 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (6)
塩素酸	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

※災害用井戸水に対して水質基準値は設定されていないため、水道法に基づく水道水質基準をあてはめて評価した。

():前年度

表2 プール水、採暖槽水、浴槽水、シャワー水検査

種類	検査件数	検査項目
プール水 (採暖槽水含む)	59 (38)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量
浴槽水	70 (30)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量、 有機物(全有機炭素の量)
シャワー水	2 (4)	色度、濁度、過マンガン酸カリウム消費 量
計	131 (72)	

():前年度

表3 家庭用品試買試験検査結果

検査項目	対象家庭用品	検体数	違反数
ホルムアルデヒド	繊維製品、つけまつげ用接着剤等	86	0
アゾ化合物	繊維製品	8	0
塩化水素、硫酸	住宅用の洗浄剤	1	0
水酸化カリウム、水酸化ナトリウム	家庭用の洗浄剤	1	0
容器試験	住宅用・家庭用の洗浄剤	2	0
有機水銀化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
トリフェニル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
トリブチル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
ジベンゾ[a, h]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]ピレン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
テトラクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
トリクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
総 数		132	0

表4 多摩川で採取した魚介類の検査結果

項目	1	2	3 [※]	定量下限値
総水銀 (ppm)	0.02	0.02	0.02	0.01
銅 (µg/g)	0.6	0.5	0.4	0.3
鉛 (µg/g)	不検出	不検出	不検出	0.1
カドミウム (µg/g)	不検出	不検出	不検出	0.01
マンガン (µg/g)	3.2	3.1	2.3	0.1
クロム (µg/g)	不検出	不検出	不検出	0.1
亜鉛 (µg/g)	12	16	12	0.3
ヒ素 (µg/g)	0.12	0.09	0.07	0.01
トリブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
トリフェニルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
ジブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1

※検体量不足のため結果は参考値とする。

表5 健康食品中医薬品成分検査結果

検査項目		検体数	検出	不検出
痩身成分	フェノールフタレイン	7	0	7
	フェンフルラミン			
	N-ニトロソフェンフルラミン			
	シブトラミン			
	マジンドール			
	クロルプロパミド			
	トルブタミド			
	オリスタット			
強壯成分	シルデナフィル	9	0	9
	タダラフィル			14 [*]
	バルデナフィル			9
	ホンデナフィル			
	クロロプレタダラフィル			
	グリペンクラミド			
	ヨヒンビン			
局所麻酔成分	リドカイン	4	0	4

※タダラフィルについて、形状がカプセルの場合は内容物に加えカプセル皮膜の検査(5件)を実施した。

(3) 残留農薬・放射能検査部門

残留農薬・放射能検査担当では、食品衛生法に基づき、市内産農産物を含めた市内流通食品の残留農薬検査、残留動物用医薬品検査及び食品・水道水等の放射性物質検査を実施した。

精度管理については、一般財団法人食品薬品安全センターの実施する食品衛生外部精度管理調査に参加し、重金属検査(カドミウム)、残留農薬検査(I:個別試験、II:一斉試験)及び残留動物用医薬品検査(定量)を実施した。

ア 残留農薬検査

保健所食品安全課及び市内7区役所の地域みまもり支援センター(保健所支所)衛生課、中央卸売市場食品衛生検査所から依頼のあった食品、総数36検体・延べ1,563項目について残留農薬検査を実施した。

(7) 国内産農産物の検査

保健所食品安全課、各区役所地域みまもり支援センター(保健所支所)衛生課及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の29検体・計1,439項目について検査を実施した。

国内産農産物のうち市内産は4検体・計200項目、その他の国内産は25検体・計1,239項目行った(表1-1及び表2-2)。

市内産において検出が認められた農産物及び農薬はなかった。その他の国内産農産物では、アゾキシストロビン・群馬県産きゅうり1検体(基準値1mg/kgのところ0.010mg/kg)、イミ

ダクロプリド・山梨県産なす1検体(基準値2mg/kgのところ0.009mg/kg)、シフルフェナミド・北海道県産ミニトマト1検体(基準値0.5mg/kgのところ0.016mg/kg)、フサライド・秋田県産玄米1検体(基準値1mg/kgのところ0.016mg/kg)、ブプロフェジン・熊本県産トマト1検体(基準値1mg/kgのところ0.011mg/kg)、ソアゾファミド・青森県産こかぶ1検体(基準値0.3mg/kgのところ0.011mg/kg)であった。

(イ) 輸入農産物の検査

保健所食品安全課依頼2検体・計64項目について検査を実施したところ、どちらの検体からもクロルピリホスの検出が認められた(表3)。フィリピン産バナナ1検体からは0.013mg/kg(基準値3mg/kg)、メキシコ産グレープフルーツ1検体からは0.006mg/kg(基準値1mg/kg)の検出が認められた。

(ウ) 玄米中のカドミウム検査

幸区役所地域みまもり支援センター(保健所支所)衛生課依頼の秋田県産玄米2検体について検査を実施したところ、それぞれ0.045及び0.075mg/kg(基準値0.4mg/kg)であった。

(エ) 国産及び輸入畜産物の検査

保健所食品安全課及び麻生区役所地域みまもり支援センター(保健所支所)衛生課から依頼の5検体・計60項目について検査を実施した(表4)。国産及び輸入畜産物のどちらにおいても、検出が認められた検体はなかった。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	にんじん				小松菜				キャベツ	農産物名	にんじん				小松菜				キャベツ	
	麻生区	高津区	麻生区	宮前区	麻生区	高津区	麻生区	宮前区			麻生区	高津区	麻生区	宮前区						
検査依頼項目数					50	50	50	50		17	バラチオン(バラチオンエチル)	○	○	○	○					
検出項目数					0	0	0	0		18	バラチオンメチル	○	○	○	○					
検査依頼項目	1	EPN	○	○					検査依頼項目	19	ピラクロホス	○	○	○	○					
	2	アニコホス	○							20	ピリミホスメチル	○	○	○	○					
	3	エチオン	○	○	○	○					21	フェナミホス	○	○	○	○				
	4	エディフェンホス	○								22	フェニトロチオン(MEP)	○	○	○	○				
	5	エトプロホス	○	○	○						23	フェンスルホチオン	○							
	6	エトリムホス	○	○							24	フェントエート	○	○	○	○				
	7	カズサホス	○	○	○	○					25	ブタミホス	○	○	○	○				
	8	キナルホス	○	○	○	○					26	プロチオホス	○	○						
	9	クロルピリホスメチル	○	○	○	○					27	プロパホス	○		○					
	10	サリチオン	○								28	プロフェノホス	○	○						
	11	ジクロフェンチオン	○								29	ホサロン	○							
	12	ジメエート	○								30	ホスチアゼート	○	○	○	○				
	13	ダイアジノン	○	○	○	○					31	ホレート	○	○	○					
	14	テルブホス	○	○	○	○					32	マラチオン(マラノン)	○	○						
	15	トリアゾホス	○								33	メチダチオン	○	○	○	○				
	16	トルクロホスメチル	○	○	○	○					34	アゾキシストロビン	○	○	○	○				

○:不検出

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位 mg/kg

農産物名	にんじん	小松菜		キャベツ	農産物名	にんじん	小松菜		キャベツ			
		麻生区	高津区				麻生区	宮前区				
生産地区	麻生区	高津区	麻生区	宮前区	生産地区	麻生区	高津区	麻生区	宮前区			
検査依頼項目	35	アトラジン	○	○	○	○	56	アラクロール		○	○	○
	36	エンドスルファen	○	○	○	○	57	クロメプロップ		○	○	○
	37	クレソキシムメチル	○	○	○	○	58	シアナジン		○	○	
	38	クロルフェナピル	○			○	59	シハロホップブチル		○		○
	39	クロルプロファム	○			○	60	フィプロニル		○	○	○
	40	ジクロラン	○			○	61	フェンプロパトリン		○	○	○
	41	ジフェノコナゾール	○	○	○	○	62	フサライド		○		○
	42	ジメチピン	○				63	プロプロフェジン		○	○	○
	43	トリアレート	○	○	○	○	64	フルトラニル		○	○	○
	44	ビフェントリン	○	○	○	○	65	アジンホスメチル			○	
	45	フェナリモル	○	○	○	○	66	イサノホス			○	
	46	フェンバレレート	○				67	シアノホス			○	○
	47	フルシトリネート	○	○	○		68	イソプロチオラン			○	○
	48	プロモプロピレート	○	○	○	○	69	クロルフェンゾン			○	
	49	ミクロブタニル	○	○		○	70	ジチオピル			○	
	50	レナシル	○	○	○	○	71	シメコナゾール			○	○
	51	クロルピリホス			○	○	72	ハルフェンブロックス			○	
	52	クロルフェンビンホス			○	○	73	ペンフルラリン			○	
53	テトラクロルビンホス			○	○	74	カフェンストロール				○	
54	ホスファミドン			○		75	シフルフェナミド				○	
55	ホノホス			○								

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	なす				きゅうり			ミニトマト	(はちべえ)トマト	あきたこまち(玄米)	こかぶ
	山梨県	福島県	宮崎県	群馬県	北海道	熊本県	秋田県	青森県			
検査依頼項目数	50	50	50	48	50	50	45	50	48	48	50
検出項目数	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
検査依頼項目	1	アザメチホス									
	2	アジンホスメチル	○	○		○	○				○
	3	アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	0.010	○	○	○
	4	アニロホス									○
	5	イプロバリカルブ									○
	6	イマザリル	○	○							○
	7	イミダクロプリド	0.009	○							
	8	オキサジクロメホン	○	○							
	9	オキシカルボキシin	○	○							
	10	カルバリル	○	○							○
	11	クミルロン	○	○							
	12	クロキントセットメキシル									
	13	クロチアニジン	○	○							
	14	クロリダゾン	○	○							○
	15	クロロクスロン									

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位 mg/kg

農産物名	なす		きゅうり				ミニトマト	(はちべえトマト)	あきたこまち(玄米)		こかぶ
	山梨県	福島県	宮崎県	群馬県			北海道	熊本県	秋田県	青森県	
13	クロチアニジン	○	○								
14	クロリダゾン	○	○								○
15	クロロクスロン										
16	ジウロン	○	○								○
17	ジメモルフ	○	○								
18	チアクロプリド	○	○								
19	チアメキサム	○	○								○
20	チオジカルブ及びメソミル	○	○								
21	テフルベンズロン	○	○								○
22	トリフルムロン	○	○								○
23	ノバルロン	○	○								○
24	ピラクロストロビン	○	○								○
25	ピリミカブ	○	○								○
26	フェンアミド	○	○								○
27	フェンピロキシメート	○	○								○
28	フルフェノクスロン	○	○								○
29	フルリドン										○
30	ヘキシチアゾクス	○	○								○
31	ボスカリド	○	○								○
32	メタベンズチアズロン										○
33	メキシフェノジド	○	○								○
34	モノリニユロン	○	○								○
35	ラクトフェン	○	○								○
36	インドキサカルブ	○	○								○
37	オキサミル	○	○								
38	オリザリン	○	○								○
39	クロマフェノジド	○	○								○
40	シクロエート										○
41	シフルフェナミド	○	○	○	○	○	0.016	○			
42	ジメチリモール										
43	チアベンダゾール	○	○								○
44	トリチコナゾール										○
45	フェリムゾン	○	○								○
46	フェンメディファム										
47	フラメピル										○
48	ベンシクロン	○	○								○
49	ベンダイオカルブ	○	○								○
50	ルフェスロン	○	○								○
51	EPN			○	○			○	○	○	
52	エチオン			○	○	○	○	○	○	○	
53	エトリムホス										
54	キナルホス			○	○	○	○	○			
55	クロルピリホス			○	○	○	○	○	○	○	
56	クロルピリホスメチル			○	○	○	○	○	○	○	
57	クロルフェンピホス			○	○	○	○	○	○	○	
58	ジクロロフェンチオン										
59	ジメエート			○	○	○	○	○	○	○	
60	ダイアジン			○	○	○	○	○	○	○	
61	テルブホス			○	○	○			○	○	
62	トリアゾホス										
63	トルクロホスメチル			○	○	○	○	○	○	○	
64	パラチオン(パラチオンエチル)			○	○	○	○	○			
65	パラチオンメチル			○	○	○	○	○	○	○	
66	ピラクロホス			○	○	○	○	○			

検査依頼項目

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位 mg/kg

農産物名	なす		きゅうり				ミニトマト	(はちべえ) トマト	あきたこまち (玄米)		こかぶ
	山梨県	福島県	宮崎県	群馬県	北海道	熊本県	秋田県	青森県			
67	ピリホスメチル		○	○	○	○	○	○	○	○	
68	フェナミホス		○	○	○	○	○	○	○	○	
69	フェントエート								○	○	
70	ブタミホス		○	○	○	○	○	○	○	○	
71	プロチオホス							○			
72	プロパホス								○	○	
73	プロフェノホス										
74	ホスチアゼート		○	○	○	○	○	○			
75	ホレート			○	○	○					
76	マラチオン(マラソン)		○	○	○	○	○	○	○	○	
77	メチダチオン		○	○	○	○	○	○	○	○	
78	メピンホス										
79	アトラジン		○	○	○	○	○	○	○	○	
80	エンドスルファン		○	○	○	○	○	○	○	○	
81	クレソキシムメチル		○	○	○	○			○	○	
82	クロルフェナビル		○	○	○	○	○	○			
83	クロルプロファミ		○						○	○	
84	ジクロラン		○	○	○	○	○	○			
85	ジフェノコナゾール		○	○	○	○	○	○	○	○	
86	ジメチピン		○	○	○	○	○	○	○	○	
87	トリアレート		○	○	○	○	○	○	○	○	
88	ビフェントリン		○	○	○	○	○	○	○	○	
89	フェナリモル		○	○	○	○	○	○			
90	フェンバレレート		○	○	○	○	○	○	○	○	
91	フェンプロバトリン		○	○	○	○					
92	フサライド								○	0.016	
93	フルキンコナゾール							○			
94	フルシトリネート		○	○	○	○	○	○	○	○	
95	プロモプロピレート		○	○	○	○	○	○	○	○	
96	ミクロブタニル		○	○	○	○	○	○			
97	レナシル		○	○	○	○	○	○			
98	エトプロホス		○	○	○	○	○	○			
99	サリチオン		○								
100	シアンホス		○	○	○	○					
101	ホスファミドン										
102	ホノホス								○	○	
103	アクリナトリン		○	○	○	○	○	○			
104	ブプロフェジン		○	○	○	○	○	0.011	○	○	
105	エボキシコナゾール	○	○								
106	カルプロバミド	○	○								
107	シアゾファミド	○	○								0.011
108	シプロジニル	○	○								
109	テブフェンジド	○	○								○
110	ピリフタリド	○	○								○
111	フェノブカルブ	○	○								○
112	クロルフルアズロン	○	○								○
113	ジフルベンズロン	○	○								○
114	フェノキシカルブ	○	○								○
115	ブタフェナシル	○	○								○
116	ヘキサフルムロン	○	○								○
117	インダノファン										○
118	クロフェンテジン										

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位 mg/kg

農産物名	なす		きゅうり				ミニトマト	トマト	あきたこまち (玄米)		こかぶ
	山梨県	福島県	宮崎県	群馬県	北海道	熊本県	秋田県	青森県			
119 テブチウロン										○	
120 クロメプロップ								○	○	○	
121 ダイムロン											
122 テトラクロルピンホス										○	
123 プロバキザホップ											
124 シメコナゾール		○	○	○	○	○	○	○	○		
125 ベンゾフェナップ										○	
126 フラチオカルブ										○	
127 ナプロアニド										○	
128 カズサホス		○	○	○	○	○	○				
129 フェントロチオン(MEP)		○	○	○	○	○	○	○	○		
130 ホサロン		○	○	○	○		○				
131 ジエトフェンカルブ		○	○	○	○	○	○				
132 ピリダベン		○	○	○	○	○	○				
133 フルトラニル		○	○	○	○	○	○	○	○		
134 ペンディメタリン		○				○	○				
135 プロモホス(プロモホスメチル)				○							
136 フェンスルホチオン						○	○				
137 プロピコナゾール						○	○				
138 イザゾホス											
139 エディフェンホス								○	○		
140 イソプロチオラン								○	○		
141 アザコナゾール											
142 アラクロール								○	○		
143 キノクラミン(ACN)								○	○		
144 シフルトリン								○	○		
145 トリブホス(DEF)											
146 ハルフェンブロックス											
147 ビフェノックス								○	○		
148 ピラゾホス											
149 フィプロニル								○	○		
150 メタクリホス											
151 ジチオピル								○	○		
152 ジメチルピンホス								○	○		
153 シハロホップブチル								○	○		
154 フェンクロルホス											
155 クロルフェンゾン											
156 シアナジン											
157 ベンフルラリン											
158 ジクロプロトラゾール											
159 フルバリネート							○	○	○		
160 ピリダフェンチオン								○	○		

○:不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	トマト		チンゲン菜		ピーマン		ほうれん草		小松菜		じゃがいも		(紅はるか)		にんじん		ブロッコリー		(ほっこりうらら)		(くりゆたか)		
	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
生産地区	茨城県										千葉県			北海道		熊本県							
検査依頼項目数	50																						
検出項目数	0																						
1	アザメチホス																						
2	アジンホスメチル	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	アニロホス	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	イプロバリカルブ				○														○				
6	イマザリル				○																		
7	イミダクロプリド				○																		
8	オキサジクロメホン																			○			
9	オキシカルボキシ																						
10	カルバリル				○															○			
11	クミルロン																			○			
12	クロキントセットメキシル																						
13	クロチアニジン																						
14	クロリダゾン				○																		
15	クロロクソン																			○			
16	ジウロン				○															○			
17	ジメトモルフ				○															○			
18	チアクロプリド																						
19	チアトキサム				○																		
20	チオジカルブ及びメソル																			○			
21	テフルベンズロン				○															○			
22	トリフルムロン				○															○			
23	ノバルロン				○															○			
24	ピラクロストロビン				○															○			
25	ピリミカーブ				○															○			
26	フェンアミドン																						
27	フェンピロキシメート																						
28	フルフェノクソン				○															○			
29	フルリドン																			○			
30	ヘキシチアゾクス				○															○			
31	ボスカリド				○															○			
32	メタベンズチアズロン				○															○			
33	トキサフェノジド				○															○			
34	モノリニロン				○															○			
35	ラクトフェン				○																		
36	インドキサカルブ				○															○			
37	オキサミル				○															○			
38	オリザリン				○															○			
39	クロマフェノジド				○															○			
40	シクロエート				○															○			
41	シフルフェナミド	○	○		○		○													○			
42	ジメチリモール																						
43	チアベンダゾール				○															○			
44	トリチコナゾール																						
45	フェリムゾン				○															○			
46	フェンメディファム				○															○			
47	フラメビル				○															○			
48	ペンシクロン				○																		
49	ベンダイオカルブ				○															○			
50	ルフェスロン				○															○			
51	EPN	○	○		○	○	○	○	○							○	○				○	○	

○: 不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	トマト	チンゲン菜	ピーマン	ほうれん草	小松菜	じゃがいも	(とうや)	(紅はるか)	さつまいも	にんじん	プロットコリー		(ほっこりうらら)	かぼちゃ	(くりゆたか)	かぼちゃ
											北海道	千葉県				
生産地区	茨城県							千葉県		北海道		熊本県				
52 エチオン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
53 エトリムホス										○	○					○
54 キナルホス	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
55 クロルピリホス	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
56 クロルピリホスメチル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
57 クロルフェンピホス	○	○		○	○	○	○			○	○					○
58 ジクロフェンチオン										○	○		○			
59 ジメトエート	○	○		○	○	○				○	○					
60 ダイアジノン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
61 テルブホス				○	○	○	○			○	○		○	○		
62 トリアゾホス										○						
63 トルクロホスメチル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
64 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
65 パラチオンメチル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
66 ビラクロホス	○	○		○	○	○	○			○	○		○			
67 ビリミホスメチル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
68 フェナミホス	○	○			○	○	○			○	○		○	○		
69 フェントエート					○	○				○	○		○	○		
70 ブタミホス	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
71 プロチオホス					○		○			○						○
72 プロパホス					○		○			○			○			
73 プロフェノホス										○						
74 ホスチアゼート	○	○		○		○				○	○		○	○		
75 ホレート					○	○				○	○		○	○		
76 マラチオン(マラソン)	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
77 メチダチオン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
78 メピホス		○								○						○
79 アトラジン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
80 エンドスルファン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
81 クレンキシムメチル				○						○	○		○	○		
82 クロルフェナピル	○	○								○	○		○	○		
83 クロルプロファミ					○	○	○			○	○		○			
84 ジクロラン	○	○			○	○				○	○					○
85 ジフェノコナゾール	○	○		○		○	○			○	○		○	○		
86 ジメチピホス	○	○			○	○				○	○					
87 トリアレート	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
88 ビフェントリン	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
89 フェナリモル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
90 フェンバレレート	○	○		○						○	○		○	○		
91 フェンプロパトリン				○		○				○			○	○		
92 フサライド					○	○				○						
93 フルキンコナゾール										○	○		○			
94 フルシトリネート	○	○		○		○				○	○					
95 プロモプロピレート	○	○		○		○	○			○	○		○	○		
96 ミクロブタニル	○	○		○	○	○				○	○		○	○		
97 レナシル	○	○		○	○	○	○			○	○		○	○		
98 エトプロホス	○	○		○		○					○		○	○		
99 サリチオン					○		○				○			○		
100 シアノホス					○		○				○					○
101 ホスファミドン					○		○				○					○
102 ホノホス										○						
103 アクリナトリン	○	○		○						○						
104 ププロフェジン	○	○		○		○				○			○	○		
105 エポキシコナゾール			○					○								

○: 不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	トマト	チンゲン菜	ピーマン	ほうれん草			小松菜	(とうや) じゃがいも	(紅はるか) さつまいも	にんじん	ブロッコリー	(ほっこりうらら) かぼちゃ	(くりゆたか) かぼちゃ
				葉	根	茎							
生産地区	茨城県						千葉県		北海道		熊本県		
106	カルプロバミド											○	
107	シアゾファミド		○									○	
108	シプロジニル		○									○	
109	テブフェノジド		○					○				○	
110	ピリフタリド		○									○	
111	フェノピカルブ							○					
112	クロルフルアズロン		○					○					
113	ジフルベンズロン												
114	フェノキシカルブ		○					○				○	
115	ブタフェナシル		○									○	
116	ヘキサフルムロン		○					○				○	
117	インダノファン		○					○				○	
118	クロフェンテジン											○	
119	テブチウロン											○	
120	クロメプロップ		○					○				○	
121	ダイムロン											○	
122	テトラクロルピホス					○		○				○	
123	プロバキサゾップ		○					○				○	
124	シメロナゾール	○	○	○	○	○						○	○
125	ベンゾフェナップ		○					○					
126	フラチオカルブ		○										
127	ナプロアニリド							○					
128	カズサホス	○	○		○	○							
129	フェニトロチオン(MEP)	○	○		○	○						○	○
130	ホサロン					○						○	
131	ジエトフェンカルブ	○	○										
132	ピリダベン	○	○										
133	フルトラニル	○	○		○	○	○						
134	ベンディメタリン	○	○										
135	プロモホス(プロモホスメチル)					○						○	
136	フェンスルホチオン	○	○			○							
137	プロピコナゾール	○	○										
138	イサゾホス	○			○		○						○
139	エディフェンホス	○											
140	イソプロチオラン		○		○	○							
141	アザコナゾール				○	○	○					○	○
142	アラクロール				○	○	○	○				○	
143	キノクラミン(ACN)				○								
144	シフルトリン				○								
145	トリブホス(DEF)				○								○
146	ハルフェンブロックス				○	○	○					○	
147	ピフェノックス				○		○						
148	ピラゾホス				○							○	
149	フィプロニル				○								
150	メタクリホス					○	○						
151	ジチオゼル					○	○	○				○	○
152	ジメチルピホス					○						○	
153	シハロホップチル					○							
154	フェンクロルホス					○							
155	クロルフェンソ						○						
156	シアナジン						○						○
157	ベンフルラリン						○						○
158	ジクロトラゾール											○	
159	フルバリネート												
160	ピリダフェンチオン												○

○: 不検出

表3 輸入農産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名		バナナ	グレープフルーツ	農産物名		バナナ	グレープフルーツ
生産地区		フィリピン	メキシコ	生産地区		フィリピン	メキシコ
検査依頼項目数		34	30				
検出項目数		1	1				
検査依頼項目	1 エチオン	○	○	19	アゾキシストロビン	○	
	2 エトプロホス	○		20	アトラジン	○	○
	3 カズサホス	○	○	21	エンドスルファン	○	○
	4 キナルホス	○	○	22	クレソキシムメチル	○	○
	5 クロルピリホス	0.013	0.006	23	ジフェノコナゾール	○	
	6 クロルピリホスメチル	○	○	24	トリアレート	○	○
	7 クロルフェンビンホス	○	○	25	ピフェントリン	○	○
	8 ジメトエート	○		26	フィプロニル	○	
	9 テルブホス	○	○	27	フェナリモル	○	○
	10 トルクロホスメチル	○	○	28	フェンバレレート	○	○
	11 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○	29	フェンプロパトリン	○	○
	12 パラチオンメチル	○	○	30	プロプロフェジン	○	○
	13 ピリミホスメチル	○	○	31	フルシトリネート	○	○
	14 フェナミホス	○	○	32	プロモプロピレート	○	○
	15 フェンスルホチオン	○		33	マイクロブタニル	○	
	16 ホレート	○	○	34	レナシル	○	○
	17 マラチオン(マラソン)	○	○	35	フェニトロチオン(MEP)		○
	18 メチダチオン	○	○	36	フェントエート		○
			37	シメコナゾール		○	

○:不検出

表4 国産及び輸入畜産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

農産物名	鶏肉 (むね肉)	豚肉 (もも肉)	牛肉 (ネック)	豚肉 (ロース)	牛肉	
	宮崎県	群馬県	鹿児島県	アメリカ		
検査依頼項目数	12	12	12	12	12	
検出項目数	0	0	0	0	0	
検査依頼項目	1 BHC	○	○	○	○	○
	2 DDT	○	○	○	○	○
	3 γ-BHC(リンデン)	○	○	○	○	○
	4 アルドリン及びディルドリン	○	○	○	○	○
	5 エンドスルファン	○	○	○	○	○
	6 エンドリン	○	○	○	○	○
	7 クロルデン	○	○	○	○	○
	8 ジコホール	○	○	○	○	○
	9 ピフェントリン	○	○	○	○	○
	10 プロシミドン	○	○	○	○	○
	11 ヘキサクロロベンゼン	○	○	○	○	○
	12 ヘプタクロル	○	○	○	○	○

○:不検出

イ 残留動物用医薬品検査

(7) 国内産畜産物の検査

保健所食品安全課、各区役所地域みまもり支援センター(保健所支所)衛生課及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の11検体・計196項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体は無

かった(表5)。

(イ) 輸入畜産物及び水産物の検査

保健所食品安全課及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の10検体・計120項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体は無かった(表6)。

表5 残留動物用医薬品検査結果(国内産)

単位 mg/kg

農産物名	鶏肉(もも肉)		鶏肉(むね肉)		鶏卵(白玉)		鶏卵(赤玉)		豚肉(もも肉)	牛肉(ネック)	
	岩手県	宮崎県	岩手県	宮崎県	岩手県	青森県	福島県	群馬県	鹿児島県		
検査依頼項目数	19	19	19	19	18	17	17	17	17	17	
検出項目数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検査依頼項目	1 ジフロキサシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 ミロキサシン	○	○	○	○	○				○	
	3 オキシロニック酸	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	4 ナリジクス酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 フルメキン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 ピロミド酸	○	○	○	○	○				○	○
	7 アルベンダゾール	○	○	○	○						
	8 スルファジアジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 スルファメラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 スルファメキシピリダジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 スルファモノメキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 スルファクロピリダジン	○	○	○	○	○				○	
	15 スルファドキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 スルファキノキサリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18 スルファジメキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 スルファニトラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 トリメプリーム						○	○	○		○
	21 オルメプリーム						○	○	○		○

○:不検出

表6 残留動物用医薬品検査結果(輸入)

単位 mg/kg

農産物名	サーモントラウト		サーモン	むきえび		ブラックタイガー		鶏肉(もも肉)	牛肉	豚肉(ロース)
	チリ			タイ		インドネシア		タイ	アメリカ	
生産地区	チリ			タイ		インドネシア		タイ	アメリカ	
検査依頼項目数	13	13	12	14	5	5	5	19	17	17
検出項目数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査依頼項目	1	ジフロキサシン				○			○	○
	2	ミロキサシン	○	○	○				○	○
	3	オキシロニック酸	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	ナリジクス酸	○	○	○				○	○
	5	フルメキン							○	○
	6	ピロミド酸							○	○
	7	アルベンダゾール	○	○		○			○	
	8	スルファジアジン	○	○	○				○	○
	9	スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	スルファメラジン	○	○	○	○			○	○
	11	スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	スルファメキシピリダジン	○	○	○	○			○	○
	13	スルファモノメトキシ	○	○	○	○			○	○
	14	スルファクロロピリダジン							○	○
	15	スルファドキシ	○	○	○	○			○	○
	16	スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	スルファキノキサリン							○	○
	18	スルファジメトキシ	○	○	○	○			○	○
	19	スルファニトラン				○			○	○
	20	トリメプリム				○	○	○		○
	21	オルメプリム				○				○

○: 不検出

ウ 放射性物質検査

平成 23 年 3 月 11 日の福島第一原発事故後より放射性ヨウ素(ヨウ素 131)と放射性セシウム(Cs-134 と Cs-137)について測定を行っている。保健所食品安全課、教育委員会及び上下水道局水道水質課から依頼のあった、総数 23 検体・延べ 46 項目(内訳:食品 15 検体 30 項目、水など環境試料 8 検体 16 項目)について放射能検査(放射性セシウム測定)を実施した。

市内流通食品のうち 1 検体は輸入食品のブルガリア産「ブルーベリージャム」を検査した。チェルノブイリ原発事故後、放射性セシウム(Cs-134 と Cs-137)について、平成元年から市内に流通する輸入食品を対象に行っていたがこの 3 年ほど未

実施であった。今後、年数件程度の検査を再開することとなった。

(7) 市内流通食品

保健所食品安全課依頼分の、市内に流通する一般食品 4 検体について検査を実施したところ、ブルガリア産「ブルーベリージャム」において放射性セシウム(Cs-137)が 29 Bq/kg 検出されたが、その他は不検出(基準値(Cs-134 及び 137 の合計で 100 Bq/kg 以下))であった(表 7)。

(4) 学校給食(牛乳)

教育委員会依頼分の学校給食食材(牛乳) 11 検体について検査を実施したところ、全て不検出であった(表 8)。

(I) 水道水

上下水道局水道水質課依頼分の水道原水及び配水 8 検体について検査を実施したと

ころ、検査結果は全て不検出であった(表9)。

表7 市内流通食品の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数 (4件)	原材料等産地 又は 製造所等所在地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
一般食品	小麦粉	1	群馬県	不検出(1.6 Bq/kg 未満)	不検出(1.5 Bq/kg 未満)
	大豆	1	山形県	不検出(2.6 Bq/kg 未満)	1.5 ^{**}
	精米	1	福島県	不検出(1.5 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)
	ブルーベリージャム	1	ブルガリア	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	29

※¹³⁷Csは乾燥状態での測定を行い、日本食品標準成分表2020年版(八訂)の表12青大豆重量変化率(217%)を用いて換算した。
(134Csに関しては乾燥状態での測定で不検出であったため未換算)

表8 学校給食用牛乳の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数	原材料産地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
牛乳	牛乳	11	神奈川県等	不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.3 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.3 Bq/kg 未満)
				不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)
				不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)
				不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)
				不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)

表9 市内流通食品の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数 (8件)	水源地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
飲料水	水道原水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
	水道水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)

3 微生物部門

(1) 消化器・食品細菌担当

腸管系細菌検査では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく届出及び市内外の食中毒の発生により消化器症状（下痢、腹痛等）を呈した患者やその接触者から腸管系感染症原因菌（コレラ菌、赤痢菌、チフス菌・パラチフス A 菌、腸管出血性大腸菌等）の分離・同定を行い、市内における食中毒被害の拡大防止や感染症のまん延防止に寄与している。また、分離された原因菌について、遺伝子解析を行い得られた分子疫学解析結果を保健所等の行政機関に還元している。

食品細菌検査では、食中毒予防等のため、川崎市食品衛生監視指導計画に基づき保健所及び 7 保健所支所から搬入された市内流通食品（食肉製品、乳製品、弁当類、そうざい等）について、食品衛生法に基づく成分規格検査や衛生指導検査（細菌数、大腸菌群、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌、腸管出血性大腸菌等）を実施している。また、川崎市食品 GLP の対応として、外部精度管理調査（一般細菌数測定、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、E.coli 検査）に年 5 回参加している。

ア 腸内細菌

(7) 感染性細菌検査

感染症の発生に伴う感染性細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について、219 検体、219 項目の検査を実施した。月別検査件数は、表 1 のとおりである。また、菌種別の検出状況は、表 2 のとおりである。

分離又は搬入された腸管出血性大腸菌 63 検体（すべて感染症検体由来）についての血清型及び毒素型は、表 3 に示すとおりである。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）の β -ラクタマーゼ遺伝子検査は、届出対象外も

含め、30 検体が搬入された。菌種別カルバペネマーゼ遺伝子の保有状況は、表 4 のとおりである。

(4) 細菌性食中毒検査

市内の食中毒や有症苦情及び他都市食中毒関連調査の検体が 181 検体搬入された。月別検査件数は、表 5 のとおりで、カンピロバクター・ジェジュニが 18 件で、最も多く検出された。また、令和 3 年度の市内細菌性食中毒の発生状況は 4 件で表 6 に示すとおりである。

イ 食品細菌

食品細菌検査は、表 7 に示すとおりである。総検体数は 429 検体で、不適項目（食品衛生法成分規格及び川崎市の食品等の衛生指導基準等による）は延べ 52 件（12.1%）で、成分規格違反はなく、すべて川崎市衛生指導基準等による不適件数であった。

食品別の細菌検出状況については、大腸菌群は非加熱そうざい、弁当類、生菓子等から、セレウス菌は生菓子、非加熱そうざい等から、黄色ブドウ球菌は手指拭取、弁当類等から、カンピロバクター属菌は食肉から検出されている。

ウ 水質検査

水質細菌検査は、総検体数 221 検体（井戸水 86 検体、浴槽水 71 検体、採暖槽水 5 検体、プール水 53 検体等）が搬入された。

水質基準に関する省令、遊泳用プールの衛生基準等を基に一般細菌数及び大腸菌又は大腸菌群の検査を実施し、井戸水で一般細菌数 17 件、大腸菌 16 件が基準不適であった。

表1 感染性細菌検査における月別検査件数（菌株含む）

項目	検体数	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ（コレラ菌を除く）	サルモネラ属菌（チフス菌・パラチフスA菌を除く）	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコロチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	その他	総項目数
月																						
4月	8					1													7			8
5月	6					6																6
6月	46					46																46
7月	32					29													3			32
8月	29					27													2			29
9月	33					29													4			33
10月	34					29													5			34
11月	18					14													4			18
12月	3					3																3
1月	3					2													1			3
2月	4					1													2	1		4
3月	3					1													2			3
総計	219	0	0	0	0	188	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1		219

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検査

表2 感染性細菌検査における検出状況（菌株含む）

項目	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌（腸管出血性大腸菌を除く）	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ（コレラ菌を除く）	サルモネラ属菌（チフス菌・パラチフスA菌を除く）	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコロチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	その他	検出細菌数 合計	
月																						
4月						1												7			8	
5月						2																2
6月						13																13
7月						11												3				14
8月						6												2				8
9月						13												4				17
10月						7												5				12
11月						6												4				10
12月						2																2
1月						1													1			2
2月																		2	1			3
3月						1												2				3
検出件数	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1		94	

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検出検体

表3 腸管出血性大腸菌の血清型及び毒素型

血清型	毒素型	株数
O157	VT1&2	37
O157	VT2	4
O26	VT1	10
O128	VT1&2	4
O3	VT1	1
O76	VT1&2	1
O91	VT1&2	1
O111	VT1&2	1
O113	VT2	1
O150	VT2	1
O156	VT1&2	1
OUT	VT2	1
計		63

表4 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）の菌種別遺伝子検出状況（令和3年4月～令和4年3月）

菌種	遺伝子検査 実施数	カルバペネマーゼ遺伝子 保有数	カルバペネマーゼ遺伝子 内訳
<i>Klebsiella aerogenes</i>	14	0	-
<i>Escherichia coli</i>	6	1	NDM
<i>Enterobacter cloacae</i>	4	2	IMP-1、IMP-2
<i>Cytrobacter freundii</i>	3	2	IMP-1
<i>K. pneumoniae</i>	2	0	-
<i>Cytrobacter braakii</i>	1	0	-
計	30	5	

表5 細菌性食中毒検査における月別検査件数及び検出状況（菌株含む）

項目	検体数	赤痢菌	サルモネラ属菌 (チフス菌、パラチフスA菌を除く)	病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ (コレラ菌含む)	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター・ジェジュニ	カンピロバクター・コリ	ウエルシュ菌	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ（コレラ菌非O1）	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファアーニシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	セレウス菌	クドア・セブテンブククタータ	検出細菌種数 合計
月																				
4月	86						2	2		1										5
5月	7							3												3
6月	37		1		1			3												5
7月	10						1	2												3
8月	0																			0
9月	3																			0
10月	3							2												2
11月	3						1	1												2
12月	27						4	4												8
1月	2							1												1
2月	0																			0
3月	3																			0
総計	181	0	1	0	1	0	8	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29

表6 市内細菌性食中毒発生事例（令和3年4月～令和4年3月）

No.	発生日	摂食者数	患者数	死者数	原因食品 (種別)	病因物質	原因施設	措置
1	4月11日	53	9	0	当該施設で提供された食品	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	営業停止1日間
2	5月19日	13	5	0	5/16、5/21及び5/24に提供された食品	腸管出血性大腸菌O157(VT1VT2)	飲食店	営業停止4日間
3	7月4日	4	4	0	7/2に提供された食事	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	営業停止2日間
4	12月11日	7	4	0	12/7日に提供された食事	カンピロバクター・ジェジュニ	飲食店	営業停止3日間

(2) 呼吸器・環境細菌担当

結核菌・レジオネラ属菌・溶血性レンサ球菌・インフルエンザ菌・百日咳菌等の呼吸器系細菌や髄膜炎菌等の検査ならびに研究を行っている。

ア 結核関連検査

(7) 塗抹・培養検査

結核登録患者管理検診、結核患者接触者健診対象者に対して塗抹・培養検査を実施している。

令和3年度は39件の搬入があった。

結果は全て陰性であった。

(4) IGRA検査

結核患者接触者健診においてIGRA検査を実施している。2007年からQFT検査、2013年12月からはT-SPOT.TB検査を実施してきた。2021年1月からはT-SPOT.TB検査からQFT-PLUS検査へ段階的に移行することとなり、令和3年度のT-SPOT.TB検査件数は9件で、結果は表1-1に示すとおり陽性1件(11.1%)、陰性8件(88.9%)、QFT-PLUS検査件数は234件で、結果は表1-2に示すとおり陽性24件(10.3%)、陰性210件(89.7%)であった。

(5) 結核菌分子疫学解析

川崎市分子疫学調査として、平成25年度から川崎市内で発生届のあった患者の菌株を収集し、JATA15-VNTR法で遺伝子解析を行っている。令和元年度から解析領域を24領域に拡大し、解析を実施している。

令和2年度は菌株14株が搬入され遺伝子解析を行った。更に、患者の疫学情報とあわせて分析を行い、菌バンクとしてデータを蓄積した。

イ レジオネラ属菌検査

浴槽水等の環境水、レジオネラ症患者発生時の患者喀痰や患者環境調査検体等からのレジオネラ属菌の分離培養を行った。また、遺伝子検査としてLAMP法を行った。

レジオネラ属菌検査の総数は145件、LAMP法は25件であった。

各検査材料別の件数および検出血清型は表2-1及び表2-2に示すとおりである。

ウ 感染症発生動向調査

A群溶血性レンサ球菌検査について、令和3年度は1件の搬入があり、結果は不検出であった。

エ 感染症細菌検査

感染症の発生に伴う細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について検査を実施した。

インフルエンザ菌は2症例3株搬入され、全てnon-typable(NTHi)であった。

劇症型溶血性レンサ球菌は3症例3株搬入され、A群1株、B群1株、G群1株であった。

肺炎球菌は15症例15株の搬入があり、血清型別を行った。血清型別結果は表3に示すとおりである。

表1-1 T-SPOT. TB検査

依頼件数	陽 性	陽性判定保留	陰性判定保留	陰 性	判定不可
9	1(11.1%)	0.00%	0(0.0%)	8(88.9%)	0(0.0%)

表1-2 QFT-PLUS検査

依頼件数	陽 性	陰 性	判定不可
234	24(10.3%)	210(89.7%)	0(0.0%)

表2-1 レジオネラ属菌検出状況

		環 境			感染症		計
		浴槽水	採暖槽水	シャワー水等	喀痰	患者環境調査	
総検体数		94	19	4	10	18	145
検出検体数(※)		23	8	0	5	0	36
検 出 数	<i>L. pneumophila</i>	計	29	12		5	46
	血 清 群	SG1	5	3		4	12
		SG2				1	1
		SG3	4	1			5
		SG4	1				1
		SG5	5	3			8
		SG6	7	2			9
		SG8	1	3			4
		SG9	1				1
		SG10	1				1
		SG12	1				1
		SGUT	3				3
<i>L. spp</i>		4				4	

※ 1検体から複数の属・血清群が分離された場合は1と計上

表2-2 LAMP法によるレジオネラ属菌遺伝子検出状況

	環 境		感染症		計
	浴槽水	採暖槽水	喀痰	患者環境調査	
総検体数	4	1	2	18	25
検出検体数		1			1

表3 肺炎球菌 血清型別

区分	血 清 型 別									計
	13価ワクチン含有株			23価ワクチン含有株						
	7F	23F	20	22F	15A	23A	24F	31	35B	
件数(15歳未満)			1	1	1		1		1	5
件数(15歳以上)	1	1			3	2		1	2	10

(3) ウイルス・衛生動物担当

ウイルス・衛生動物検査担当では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査事業及び感染症対策における積極的疫学調査等により、患者等から採取された検体について、ウイルス、リケッチア及びクラミジアの検査を行っている。また、食品衛生法に基づくノロウイルス等食中毒起因ウイルスの検査及び寄生虫等の衛生害虫の同定検査を行っている。令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、その他の試験・検査の検体数はすべて大幅に減少していた。

ア 感染症対策におけるウイルス等検査

(7) 感染症発生動向調査事業

市内の病原体定点医療機関等において咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎及び急性脳炎(急性脳症含む)と診断された患者から採取された68検体について、細胞によるウイルス分離培養、PCR等で検査を行った。結果については月別件数を表1、疾患別件数を表2に示した。なお、インフルエンザについて2021/2022シーズンは、定点医療機関から当研究所への検体搬入はなかった。

(4) 発熱発疹性ウイルス検査

麻疹及び先天性風しん症候群疑い症例における病原ウイルス検索のため、患者等3名の検体についてRT-PCR検査を行った。その結果、麻疹ウイルス・風疹ウイルスは検出されなかった。うち患者1名についてはヘルペスウイルスの検査も実施し、EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型及び7型が検出された。

(5) デングウイルス検査

医療機関においてデング熱疑いと診断された患者1名についてRT-PCR検査を行ったところ、デングウイルス4型が検出された。

(1) A型肝炎・E型肝炎ウイルス検査

医療機関においてA型肝炎又はE型肝炎と診断された患者又は接触者の計14名につい

てRT-PCR検査を行った。A型肝炎ウイルスは1例検出され、E型肝炎ウイルスは5例が検出された(表3)。

(オ) 急性弛緩性麻痺ウイルス検査

医療機関において急性弛緩性麻痺と診断された患者1名についてポリオを含むエンテロウイルス、ヘルペスウイルス及びパレコウイルスの検査を実施したところ、すべて陰性であった。

(カ) 後天性免疫不全症候群/HIV検査

保健所で実施しているエイズ検査(HIV無料匿名検査)の検体のうち、スクリーニング検査で陽性又は判定保留となった1検体について確認検査を行った。ウエスタンブロット法及び核酸検査を行い、陰性であった。

(キ) 新型コロナウイルス検査

令和2年2月から世界的に流行している新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)について、発症者及び濃厚接触者等の鼻咽頭ぬぐい液又は唾液等40,683検体についてRT-PCR検査を行ったところ5,307例が陽性となった(表4)。検査依頼数の増大のため、令和3年7月から一部の検査を民間検査機関に委託した。

所内で実施した検査における陽性検体については変異株(N501Y又はL452R)スクリーニング検査を行い、また令和3年11月からは次世代シーケンサーを用いたゲノム解析も開始し、令和3年7月中旬以降の陽性検体のうち687検体を解析した。令和3年7月からデルタ株(AY.29)が主流となり、12月からオミクロン株(BA.1)が検出され、令和4年2月からオミクロン株(BA.2)が検出され始めた。

(ク) 感染症媒介蚊のウイルス検査

毎年5月から10月まで市内7箇所の保健所支所にライトトラップを設置し、蚊の捕集と蚊媒介感染症のウイルス調査を行っていたが、2020年からCOVID-19の流行により本事業の実施を見合わせており、2021年も実施しなかった。

(ケ) リケッチア検査

医療機関において日本紅斑熱疑い又はツツガムシ病疑いと診断された患者 2 名について日本紅斑熱を含むリケッチア及びツツガムシ病の PCR 検査を行ったところ、すべて陰性であった。

(3) オウム病クラミジア検査

医療機関においてオウム病疑いと診断された患者 2 名についてオウム病クラミジアの PCR 検査を行ったところ、すべて陰性であった。

イ 食中毒原因究明のためのウイルス検査

食中毒等で搬入された患者等の臨床検体 92

検体についてリアルタイム PCR 及び RT-PCR 検査を行ったところ、ノロウイルス 44 件が検出され、遺伝子型は G II.2、G II.4 及び G II.17 が検出された(表 5)。また、食中毒に伴う食品及び拭き取り液 57 検体について RT-PCR 検査を行ったところ、ノロウイルスは検出されなかった(表 6)。

ウ 衛生動物検査

保健所にセアカゴケグモ疑い事例として相談があったクモ 2 検体について、形態学的同定検査を行い、2 検体ともセアカゴケグモと同定した。

表1 感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況(月別)

発症年月	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	合計
検査検体数	5	7	2	12	0	0	3	8	13	15	0	3	68
検査症例数	1	7	2	7	0	0	3	3	5	6	0	3	37
症例ごとの検出数の合計	1	6	2	6	0	0	3	1	2	5	0	2	28
RSウイルスB型		4	1	2									7
パラインフルエンザウイルス3型				1									1
ライノウイルスA				2									2
アデノウイルス1型			1										1
アデノウイルス3型												1	1
アデノウイルス6型		1										1	2
アデノウイルス37型				1					1				2
アデノウイルス64型								1					1
コクサッキーウイルスA4型							2						2
コクサッキーウイルスA6型							1			1			2
単純ヘルペスウイルス1型										1			1
水痘・帯状疱疹ウイルス		1											1
ヒトヘルペスウイルス6型	1								1	3			5

表2 感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況(疾患別)

診断名(疑いを含む)	インフルエンザ	RSウイルス	伝染性紅斑	突発性発疹	水痘	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	感染性胃腸炎	ロタウイルス	急性脳炎	合計
検出数	0	9	0	0	0	2	2	3	3	0	2	0	0	7	28
RSウイルスB型		7													7
パラインフルエンザウイルス3型		1													1
ライノウイルスA											1			1	2
アデノウイルス1型								1							1
アデノウイルス3型		1													1
アデノウイルス6型								2							2
アデノウイルス37型									2						2
アデノウイルス64型									1						1
コクサッキーウイルスA4型							2								2
コクサッキーウイルスA6型						2									2
単純ヘルペスウイルス1型														1	1
水痘・帯状疱疹ウイルス										1					1
ヒトヘルペスウイルス6型														5	5

表3 A型肝炎・E型肝炎ウイルス検査

検査年月	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	合計
検査件数	7	0	1	0	0	1	0	0	4	0	2	2	17
検査症例数	4	0	1	0	0	1	0	0	4	0	2	2	14
A型肝炎ウイルス I A	1												1
E型肝炎ウイルス III型	1		1						1				3
E型肝炎ウイルス 型不明						1			1				2

表4 新型コロナウイルス検査

検査年月	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	合計
検査件数	2956	3966	3187	4324	8519	4300	485	295	672	6181	4060	1738	40683
うち所内実施分の検査数	2956	3966	3187	4204	7202	3382	485	295	672	4718	3900	1450	36417
新型コロナウイルス陽性数 [※]	315	352	197	522	1218	478	32	13	57	1226	695	202	5307
うち所内実施分の陽性数 [※]	315	352	197	519	1072	443	32	13	57	1134	687	175	4996
ゲノム解析数	-	-	-	-	-	-	-	212	154	137	93	91	687

※陰性確認の検体も含む

表5 食中毒起因ウイルス検査（患者等の臨床検体からの検出数）

検査年月	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	合計
検査件数	40	7	19	4	0	3	2	2	4	2	0	9	92
検出遺伝子型	21	2	15	1	0	0	0	0	0	0	0	5	44
ノロウイルスGⅡ.2	21											3	24
ノロウイルスGⅡ.4		2	8	1								2	13
ノロウイルスGⅡ.17			7										7

表6 食品及び拭き取り液からのノロウイルス検査

検査年月	R3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R4.1	2	3	合計
検査件数	36	0	2	0	0	0	0	0	19	0	0	0	57
ノロウイルス検出数													0

【第3章 試験検査】

1 月別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
結核	分離・同定・検査・検出	5	9	2	4	1	6	1	4	3	0	8	2	45
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性病	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	2,968	3,833	3,192	3,646	7,204	3,385	488	298	702	4,732	3,908	1,457	35,813
	ウイルス	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	6
	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	クラミア・マイコプラズマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原性微生物の動物試験	抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クラミア・トロモマテイス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食中毒	そ族・節足動物	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	真菌・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病原性微生物検査	32	7	19	6	0	3	3	3	8	2	0	3	86
	細菌	40	7	19	4	0	3	2	2	4	2	0	9	92
	ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床検査	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液検査(血液一般検査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液等検査	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	エイズ(HIV)検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	HBS抗原・抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他HCV	25	19	23	16	14	13	21	29	33	23	13	13	242
	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿検査	尿一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
食品等検査	微生物学的検査	108	30	90	92	20	17	49	48	86	35	0	5	580	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物)	4	22	24	30	22	31	103	51	49	32	29	22	419	
	動物を用いる試験	1	0	1	1	1	0	3	1	2	0	0	0	11	
	その他(ウイルスも含む)	2	2	9	6	5	10	22	6	12	0	0	2	76	
	(上記以外)	9	8	50	32	32	35	39	17	4	3	5	8	242	
	細菌検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医薬品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医薬品・家庭用品等検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医薬部外品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	化粧品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療用品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	毒劇物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家庭用品	0	0	0	14	18	0	21	26	8	0	20	29	2	118	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
栄養関係検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水道等水質検査	水道原水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飲用水	0	0	1	0	0	0	28	28	29	2	0	0	2	90
	理化学的検査	5	5	4	0	0	0	38	28	29	2	0	2	113	
	細菌学的検査	0	0	32	50	20	2	84	75	66	14	1	12	356	
	理化学的検査	0	0	18	31	13	0	23	11	24	6	0	5	131	
	一般廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃棄物関係検査	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
環境・公害関係検査	大気検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SO ₂ ・NO ₂ ・O ₃ 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降下煤塵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有害化学物質・重金属等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	酸性雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公共用水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工場・事業場排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浄化槽放流水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土壌・低質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境生物検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般室内環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2
食品		1	1	1	1	0	5	1	1	1	1	1	1	15
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
温泉(鉱泉)泉質検査		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2 依頼別・項目別検査件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)				
結核	分離・同定・検出	0	45	0	0	0	45		0
	核酸検査	0	1	0	0	0	1		0
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0
性病	梅毒	0	0	0	0	0	0		(0)
								1. STS 定性	0
								2. STS 定量	0
								3. TPHA 定性	0
								4. TOHA 定量	0
								5. 梅毒(ELISA)	0
	6. その他	0							
	その他	0	0	0	0	0	0		(0)
1. 淋病	0								
2. その他	0								
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	0	35,813	0	0	0	35,813		(35,877)
								1. 細胞培養	64
								2. 鶏卵培養	0
								3. 酵素抗体	0
								4. 蛍光抗体	0
								5. 遺伝子増幅	35,813
	6. その他	0							
	リケッチア	0	6	0	0	0	0	6	(6)
	1. 細胞培養	0							
	2. 鶏卵培養	0							
	3. 酵素抗体	0							
	4. 蛍光抗体	0							
	5. 遺伝子増幅	6							
	6. その他	0							
	クラミジア・マイコプラズマ	0	3	0	0	0	0	3	(3)
	1. 細胞培養	0							
	2. 鶏卵培養	0							
	3. 蛍光抗体	0							
	4. 遺伝子増幅	3							
	5. その他	0							
抗体検査	ウイルス	0	0	0	0	0	0		(0)
								1. 中和試験	0
								2. HI試験	0
								3. CP試験	0
								4. 酵素抗体	0
								5. ワイル・フェリックス反応	0
6. その他	0								
リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア・トラコマトリス	0	0	0	0	0	0	0	(0)	
1. 性器クラミジア抗体IgA	0								
IgG	0								
病原微生物の動物試験	0	0	0	0	0	0	0	0	

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)	
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)					
原虫・寄生虫	原虫	0	0	0	0	0	0	(0)		
								1. アメーバー赤痢	0	
								2. その他	0	
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	(0)		
								1. 蟻虫	0	
								2. その他	0	
	そ族・節足動物	0	2	0	0	0	2	(2)		
								1. 害虫動物	0	
								2. 殺虫効力試験	0	
								3. 生態習性試験	0	
							4. その他	2		
	真菌・その他	0	0	0	0	0	0			
食中毒	病原微生物検査	細菌	0	86	0	0	86	(1590)		
								1. 食中毒病原菌21菌種	1,575	
								2. 腸管出血大腸菌	7	
							3. その他の細菌	8		
		ウイルス(SRSV)(A型肝炎)	0	92	0	0	92	(92)		
							1. SRSV電子顕微鏡	0		
							2. NV遺伝子増幅	92		
							3. その他の細菌	0		
		核酸検査	0	0	0	0	0	0		
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0			
臨床検査	血液検査(血液一般検査)		0	0	0	0	0	0		
	血液等検査	エイズ(HIV)検査	0	1	0	0	1	(1)		
								1. PA法	0	
								2. 確認試験(W,B)	1	
		HBs抗原、抗体検査	0	0	0	0	0	0	(0)	
									1. HBs抗原	0
									2. HBs抗体	0
								3. HBe抗原	0	
							4. HBe抗体	0		
							5. IgMHbC抗体	0		
							6. その他	0		
		その他	0	242	0	0	242	(242)		
								1. HCV抗体	0	
								2. QFT	233	
							3. その他	9		
生化学検査	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
尿検査	尿一般	0	0	0	0	0	0			
	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)		0	0	0	0	0	0			
その他		0	0	0	0	0	0			

	依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)								
	住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)												
食品等検査	微生物学的検査	0	580	0	0	0	580	(3,698)								
	食品細菌	0	429	0	0	0	429	1. 生菌数	409							
								2. 大腸菌数	410							
								3. その他の細菌	1,607							
	食中毒細菌(食品・ふき取り等)	0	94	0	0	0	94		(1,215)							
								1. 食中毒病原菌21菌種	1,155							
								2. 腸管出血大腸菌	18							
	食中毒ウイルス(食品等)	0	57	0	0	0	57		(57)							
								1. 電子顕微鏡	0							
								2. 遺伝子増幅	57							
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)	0	139	0	0	280	419		(11,037)							
								食品添加物	0	89	0	0	154	243	1. 食品添加物	332
															2. 遺伝子組換え食品	10
	3. その他	514														
	残留農薬	0	50	0	0	126	176		(10,181)							
1. 残留農薬								9,699								
2. 動物用医薬品								482								
3. 金属類								0								
動物を用いる試験	0	5	5	0	1	11		0								
その他	0	16	5	0	55	76		(502)								
							1. 金属類	40								
							2. 炭水水素等	0								
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出	0	210	0	0	32	242		(242)							
								1. 赤痢菌	0							
								2. サルモネラ(腸・バラ含む)	0							
								3. 病原大腸菌	0							
								4. 腸炎ビブリオ	0							
								5. コレラ菌	0							
								6. 病原ブドウ球菌	0							
								7. カンピロバクター・ジェジュ/コリー	0							
								8. 腸管出血大腸菌	178							
								9. その他の腸管病原菌	0							
								10. レンサ球菌	4							
	11. その他の細菌	60														
核酸検査	0	0	0	0	0	0		0								
抗体検査	0	0	0	0	0	0		0								
化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0								

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)		
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)						
医薬品・家庭用品等検査	医薬品	0	0	0	0	0	0		0		
	医薬部外品	0	0	0	0	0	0		0		
	化粧品	0	0	0	0	0	0		0		
	医療用具	0	0	0	0	0	0		0		
	毒劇物	0	0	0	0	0	0		0		
	家庭用品	0	108	0	0	10	118		(338)		
								1. ホルムアルデヒド	86		
								2. 有機水銀化合物	8		
								3. トルフェニル銀化合物	8		
								4. トリブチル錫化合物	8		
								5. 酸/アルカリ定量	2		
							6. 容器試験	2			
							7. テトクロクロエチレン	12			
							8. トリクロロエチレン	12			
							9. メタノール	10			
							10. 蛍光	0			
							11. その他	190			
	その他	0	20	0	0	0	20	1. 健康食品等	119		
栄養関係検査		0	0	0	0	0	0	1. 成分検査	0		
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
	飲用水	細菌学的検査		0	90	0	0	0	90		(182)
										1. 一般細菌数	91
										2. 大腸菌等	91
									3. その他	0	
		理化学的検査		0	90	0	0	23	113		(1,030)
										1. 井戸水	860
										2. 貯槽水	0
									3. 船舶水	0	
								4. 簡易水道水	0		
								5. 専用水道水	110		
							6. 水道直結栓水	35			
							7. その他	25			
(プール水等を含む)	細菌学的検査		0	356	0	0	0	356		(600)	
									1. 一般細菌数	221	
									2. 大腸菌群	221	
								3. その他	158		
	理化学的検査		0	131	0	0	0	131		(269)	
								1. プール水	99		
								2. その他	170		

			依頼によるもの				依頼によ らないも の(5)	検査件数 合計	検査項目又は検体名	延検査 項目数 (小計)	
			住民(1)	保健所(2)	保健所以 外の行政 機関(3)	その他 (医療機 関、学 校、事務 所)(4)					
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0		
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0		
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0		
	産業廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0		
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0	1. 汚泥	0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境・公害関係	大気汚染	SO ₂ ・NO ₂ ・O _x 等	0	0	0	0	0	0	0		
		浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0	0	0		
		降下煤塵	0	0	0	0	0	0	0		
		有害化学物質・重金属	0	0	0	0	0	0	0		
		酸性雨	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0		
	水道検査	公共用水		0	0	0	0	0		(0)	
										1. 河海水底質	0
										2. その他	0
		工場・事業場排水		0	0	0	0	0	0		(0)
										1. 工場・事業場排水	0
										2. その他	0
	浄化槽放流水		0	0	0	0	0	0		0	
			0	0	0	0	0	0		(0)	
									1. 一般細菌数	0	
									2. 大腸菌群	0	
									3. その他	0	
	騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0		
	土壌・低質検査	0	0	0	0	0	0	0	0		
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般室内環境	0	0	0	0	0	0	0	1. 落下細菌	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)		0	0	8	0	0	8		(16)	
									1. セシウム134	8	
									2. セシウム137	8	
									3. ヨウ素131	0	
	食品		0	4	11	0	0	15		(30)	
									1. セシウム134	15	
									2. セシウム137	15	
								3. ヨウ素131	0		
	その他		0	0	0	0	0	0		(0)	
								1. セシウム134	0		
								2. セシウム137	0		
							3. ヨウ素131	0			
温泉(鉱泉)泉質検査	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	0	38,040	29	0	401	38,470		55,876			

3 食品別検査項目内訳

(1) 食品別検査項目内訳 (理化学検査)

区分	項目	総検体数	総項目数	着色料	保存料	発色剤	漂白剤	甘味料	強化剤	殺菌料	酸化防止剤	品質保持剤	防かび剤	酸味料	その他の添加物	不許可添加物	水分活性	品質検査	シアン化合物	マイコトキシン	魚介毒	塩分濃度	酸価過酸化物価	動物用医薬品	規格試験	食品成分	P C B	残留農薬	放射能	重金属	遺伝子組換え食品検査	特定原材料検査	その他			
魚介類		20	116																		12			67					24				13			
魚介類	ねり製品																																			
加工品	その他	12	20		2		2														6	3								3			4			
食肉及びその加工品	食肉	15	241																				181													
卵及びその加工品	食肉製品	12	39	9	16	12		2																												
穀類及びその加工品	卵及びその加工品	4	68																				68													
野菜果実類及び漬物	穀類及びその加工品	15	112		2							4																								
その加工品	野菜果実類及び漬物	8	29	1	11			2														5												2		
豆類及びその加工品	その加工品	35	1,424	1	5		2						6																							
乳及びその加工品	豆類及びその加工品	4	5	1																																
その加工品	乳類	11	22																																	
調味料	乳製品	4	7		3			2							1																					
菓子類	調味料	8	37	2	18		2	5			4																									
清涼飲料水	菓子類	10	25	5	6		2	3																												
酒精飲料	清涼飲料水	10	40	4	6			4												1					12											
油脂類	酒精飲料	2	10	2	2		2	2																												
健康食品	油脂類																																			
その他の食品	びん詰・缶詰食品	2	13		1		1				2																									
食品添加物	健康食品	0	0																																	
器具及び容器包装	その他の食品	9	19	1	12		1																													
おもちゃ	食品添加物	0	0																																	
その他	器具及び容器包装																																			
合計	おもちゃ																																			
	その他	181	2,227	26	84	12	12	20	0	0	6	4	6	0	1	35	0	5	2	1	18	8	0	316	12	0	0	1,563	30	36	8	5	17			

(2)食品別検査項目内訳(食品細菌検査)

区分	項目	検体数	一般細菌数	大腸菌群	E・c・o・l・i	E・c・o・l・i最種数(MPN)	腸管出血性大腸菌(6血清 ※3)	病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌を除く)	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌(チフス菌等も含む)	赤痢菌	エルシニア・エンテロコリチカ	カンピロバクター属菌	セレウス菌	腸炎ビブリオ	腸炎ビブリオ最種数(MPN)	コレラ菌	NAGビブリオ	その他ビブリオ科(※4)	リステリア菌	クロストリジウム属菌	ウェルシュ菌	ボツリヌス菌	緑膿菌	腸球菌	真菌類(カビ・酵母)	その他試験(※5)	項目総数
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚介類及びその加工品	生食用かき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生食用鯉魚介類	12	11	11	11	0	0	0	11	5	0	0	0	0	1	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64
魚介類加工品	魚肉わり製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	魚介類加工品(その他(鯉魚介類等))	5	5	5	4	0	6	0	4	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	
食肉及びその加工品	食肉	5	0	0	0	0	24	0	4	2	0	0	0	0	5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	28	
	生食用食肉	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	
卵及びその加工品	食肉製品	12	12	12	8	3	30	0	11	11	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	3
	卵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	
卵及びその加工品	卵加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳及びその加工品	乳製品	4	1	1	1	0	18	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	29
	乳類加工品	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
穀類・豆類及びその加工品	めん類	6	6	6	6	0	0	0	6	5	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	
	包装豆腐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
野菜・果物及びその加工品	その他の豆腐	10	10	10	10	0	0	0	10	10	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
	その他	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
弁当類	漬物	6	3	5	5	0	36	0	5	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	
	野菜・果物・その他	3	3	3	3	0	12	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	
そうざい類	弁当類	39	39	39	39	0	0	0	39	35	0	0	0	39	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	234	
	調理パン	17	16	17	17	0	0	0	17	17	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	
調味料(みそ・しょうゆ等)	非加熱そうざい	66	66	66	66	0	12	0	66	66	0	0	0	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	加熱そうざい	111	111	111	93	0	72	0	111	111	0	0	4	48	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	686	
菓子類	生菓子	9	8	9	9	0	0	0	7	7	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
	菓子	35	35	35	33	0	0	0	35	35	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199	
清涼飲料水	菓子	3	3	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	
	粉末清涼飲料水	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	16	
氷雪・氷菓	冷凍食品	9	9	9	8	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	
	氷雪・氷菓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ふきどり	レトルト	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	その他食品	3	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
その他試験	器具試験	46	46	46	26	0	0	0	46	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	166	
	手指試験	7	7	7	3	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
ふきん・おしぼり	その他拭取	3	3	3	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
	ふきん・おしぼり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総数		429	409	410	355	3	210	0	391	332	0	0	8	207	24	13	4	4	0	5	5	26	0	2	2	6	10	2,426

※1：上記表に計上する数は、検査対象とする菌種または血清型の検査実数とする。

※2：食中毒菌の依頼については、検査対象とする菌種各々の検査実数として計上。

※3：腸管出血性大腸菌(6血清)とは、O157、O26、O111、O103、O121、O145をいひ、各々1件として計上。

※4：その他ビブリオ科欄(とは、V.immiticus, V.fluvialis, V.turrisii, A.hydrophila, A.sobria, P.shigelloides)を実施した場合に計上。

※5：その他試験欄には、恒温試験・細菌試験・保存試験・乳酸菌数を実施した場合に計上。

※6：食品分類は依頼内訳に準ずるが、指定がないものについては、川崎市衛生指導基準に準じて計上。

4 水質別検査項目内訳

区分	項目	総検体数	総項目数	外観・濃度・色度・臭味	pH	窒素化合物	有機物	硬度	陽イオン類	陰イオン類	蒸発残留物	残留塩素	溶存酸素	COD	BOD	浮遊物質	陰イオン界面活性剤	n-ヘキサノ可溶性物質	その他の理化学試験	一般細菌数	大腸菌又は大腸菌群	その他の細菌学的試験	放射能	
飲料水検査	水道水	浄水	4	8																4	4			
		貯水槽水(細)																						
		その他(ウォータークーラー)																						
		貯水槽水(理)	4	110	12	4	8	4	4	4	4		2						68					
		水道原水	4	8																			8	
		水道配水	4	8																			8	
		井戸水	86	172																	86	86		
		その他(ミネラルウォーター)																						
		井戸水(理)	86	860	258	86	172	86	86	86	86													
		その他(ミネラルウォーター)																						
利用水関係検査	中水道水(細)																							
	その他																							
下水関係検査	中水道水(理)	中水道水(理)																						
		その他																						
	生物学的検査	生物学的検査																						
		下水(細)																						
	その他	その他																						
		下水(理)																						
	生物学的検査	生物学的検査																						
		し尿																						
	清掃関係検査	浄化放流水(細)	浄化放流水(細)																					
			浄化槽水																					
浄化放流水(理)		浄化放流水(理)																						
		浄化槽水																						
生物学的検査		生物学的検査																						
		その他																						
公害・一般環境検査		河川	河川																					
			河川水底質																					
		汚濁	汚濁																					
			産業排水																					
	その他(コレラ)	その他(コレラ)																						
		その他(浄水発生土)																						
	浴槽水	浴槽水	177	327	70	3														8	71	71	36	
		プール水・採暖槽水	135	253	59	1														59	58	58	18	
	その他(クレンジング剤)	その他(クレンジング剤)																						
		その他(海水)																						
温泉(鉱泉)																								
その他(シャワー水等)	11	19	4																2	2	2	7		
合計	511	1,765	403	94	180	160	90	90	90	90	2							137	221	221	61	16		

【第4章 調査研究】

1 令和3年度調査研究課題一覧

令和3年度に当研究所で実施した調査研究課題を次に示す。

研究課題名	担当	研究の種類
機器の更新に伴う自然毒食中毒検査法の測定条件等移行に関する検討	食品	経常研究
新興感染症流行時における地方自治体の食品防御対策の検討	食品	共同研究
エンニアチン類(ENNs)の汚染実態調査	食品	共同研究
食品中の食品添加物分析法の設定(ヘキサンの分析法の検証)	食品	受託研究
家庭用品に含まれる有害物質(トリクロロエチレン等)検査法の検討	水質・環境	経常研究
ポリ乳酸を主成分とする合成樹脂製の器具・容器包装における総乳酸の溶出試験の性能評価	水質・環境	共同研究
農業混合標準溶液の使用期限延長の試み(GC/MS法)	残留農薬・放射能	経常研究
カンピロバクター・ジェジュニ/コリの検査法の検討(継続)	消化器・食品細菌	経常研究
黄色ブドウ球菌毒素遺伝子のマルチプレックスPCRの検討	消化器・食品細菌	経常研究
市内流通食品等における薬剤耐性腸内細菌科細菌の汚染実態に関する研究	消化器・食品細菌	経常研究
生食用野菜における腸管出血性大腸菌の汚染実態調査	消化器・食品細菌	経常研究
NIHSJ-35カンピロバクター定量試験法の妥当性評価	消化器・食品細菌	共同研究
VNTR型で一致する結核菌株の次世代シーケンサーによる解析の検討	呼吸器・環境細菌	経常研究
環境中のレジオネラ属菌の分布状況の調査	呼吸器・環境細菌	経常研究
レジオネラ属菌の新規検査法の検討	呼吸器・環境細菌	共同研究
次世代シーケンサーを用いた新型コロナウイルスの解析	ウイルス・衛生動物	経常研究
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のスパイク領域の分子解析	ウイルス・衛生動物	経常研究
SmartAmp法を用いた新型コロナウイルス簡易迅速検査の研究	ウイルス・衛生動物	共同研究
新型コロナウイルスの二枚貝からの検出状況	ウイルス・衛生動物	共同研究
ウイルス変異を考慮した大量自動検査システムの研究	ウイルス・衛生動物	共同研究
非結核性抗酸菌の環境調査	微生物担当	経常研究
川崎市内における肺炎球菌の血清型分布状況について	微生物担当	共同研究
過粘稠性肺炎桿菌(hypermucoviscous Klebsiella pneumoniae: hvKP)の発生状況の把握と重症例の解析に関する研究	感染症情報センター	共同研究
3類等感染症のMultistate Outbreakの可視化疫学解析システムの運用	感染症情報センター	共同研究
川崎市健康安全研究所における職員のウイルス抗体価調査	感染症情報センター	共同研究

研究課題名	担当	研究の種類
腸管出血性大腸菌の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討する後ろ向きコホート研究	感染症情報センター	共同研究
新型コロナウイルス感染症対応における感染症情報センターの役割	感染症情報センター	共同研究
インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向に関する研究	所長	共同研究
感染症予防ワクチンの非臨床試験・臨床試験ガイドラインに関する研究	所長	共同研究
HPVワクチンの安全性に関する研究	所長	共同研究
ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究 分担: VPD に対する疫学調査に基づいた予防法の評価、各種ワクチンの有効性、安全性、免疫原性、累積接種率など、予防接種行政及び国民への情報還元に不可欠な知見	所長	共同研究
感染症法に基づく基本指針及び予防計画等の体制に資する研究	所長	共同研究
		計 32課題

研究の種類について

研究の種類	内容	課題数 [※]
経常研究	職員の通常業務上からの発想に基づく研究	12
共同研究	国、地方公共団体、大学及び民間企業等と研究内容を分担し、共同で実施する研究	19
受託研究	他の機関から委託を受けて行う研究	1
合計		32

※令和3年度件数

2 調査研究報告等実績一覧

令和3年度の調査研究成果の報告実績を次に示す。

(1) 令和3年度学会発表実績(口演発表)

○:発表者 下線:健康安全研究所職員

年月日	演題名	学会名	場所	発表者(共同研究者等を含む)
R3.5.7～9	川崎市幸区におけるCOVID-19の発生状況と家庭内感染事例の検討	第95回日本感染症学会総会・学術講演会	パシフィコ横浜 会議センター	○ <u>阪田敬子</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
R3.9.21～10.20	<i>Esherichia albertii</i> 特異的リアルタイムPCR法の開発と市販鶏肉の汚染実態調査	第42回日本食品微生物学会学術総会	オンライン	○ <u>新井沙倉</u> , <u>大塚佳代子</u> , <u>小西典子</u> , <u>床井由紀</u> , <u>長岡宏美</u> , <u>永井佑樹</u> , <u>前田莉花</u> , <u>土屋彰彦</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>柴田瑞葉</u> , <u>大岡唯祐</u> , <u>大屋賢司</u> , <u>大西貴弘</u> , <u>工藤由起子</u>
R3.10.26～27	器具・容器包装の溶出試験における改良ビスフェノールA分析法の室間共同実験	日本食品衛生学会第117回学術講演会	オンライン	○ <u>片岡洋平</u> , <u>阿部智之</u> , <u>阿部裕</u> , <u>牛山温子</u> , <u>内山陽介</u> , <u>大野浩之</u> , <u>大橋公泰</u> , <u>風間貴充</u> , <u>木村亜莉沙</u> , <u>小林保志</u> , <u>佐藤環</u> , <u>座間俊輔</u> , <u>高橋良幸</u> , <u>竹澤有紗</u> , <u>田中葵</u> , <u>照井善光</u> , <u>永井慎一郎</u> , <u>野村千枝</u> , <u>花澤耕太郎</u> , <u>早川雅人</u> , <u>藤吉智治</u> , <u>平林尚之</u> , <u>堀田沙希</u> , <u>宮川弘之</u> , <u>六鹿元雄</u> , <u>村山悠子</u> , <u>四柳道代</u> , <u>渡辺一成</u> , <u>佐藤恭子</u>
R3.11.25	LC-TOF/MS及びDNAシーケンサーを併用した自然毒食中毒の検査体制の構築	第58回全国衛生化学技術協議会年会	オンライン	○ <u>江原康</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>佐藤英子</u> , <u>淀谷雄亮</u> , <u>牛山温子</u> , <u>栗田史子</u> , <u>吉田裕一</u> , <u>浅井威一郎</u> , <u>橋口成喜</u>
R3.12.21～22	川崎市における新型コロナウイルス感染症の流行時期別発生状況に関する検討	第80回日本公衆衛生学会総会	京王プラザホテル	○ <u>池田史朗</u> , <u>丸山絢</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
R4.1.22	川崎市における侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)の発生状況と血清型分布状況について	第89回神奈川県感染症医学会	オンライン	○ <u>西里恵美莉</u> , <u>淀谷雄亮</u> , <u>赤木英則</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>常彬</u> , <u>岡部信彦</u>

(2) 令和3年度学会発表実績(示説発表)

○:発表者 下線:健康安全研究所職員

年月日	演題名	学会名	場所	発表者(共同研究者等を含む)
R4.9.8～9	新規酵素基質培地キットであるレジオラート/QT法の有効性の検討	日本防菌防黴学会第48回年次大会	オンライン	○ <u>淀谷雄亮</u> , <u>佐々木麻里</u> , <u>増輪文治</u> , <u>井原基</u> , <u>田栗利紹</u> , <u>緒方喜久代</u> , <u>武藤千恵子</u> , <u>田中奈緒美</u> , <u>湯澤栄子</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>前川純子</u> , <u>岡部信彦</u>
R3.11.4～5	川崎市内の三次救急医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の入院期間の違い～自治体病院の役割と課題～	第59回全国自治体病院学会	奈良県コンベンションセンター、なら100年記念会館	○ <u>細田智弘</u> , <u>浜田将太</u> , <u>沼田賢治</u> , <u>山崎さつき</u> , <u>箕浦安祐</u> , <u>藤谷茂樹</u> , <u>坂本光男</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>

(3) 令和3年度学会発表実績(誌上发表)

○:発表者 下線:健康安全研究所職員

年月日	演題名	学会名	発表者(共同研究者等を含む)
R3.11.25～26	食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討(令和2年度)	第58回全国衛生化学技術協議会年会	○ <u>多田敦子</u> , <u>堀江正一</u> , <u>内山陽介</u> , <u>栗田史子</u> , <u>中村理奈</u> , <u>杉浦潤</u> , <u>井原紗弥香</u> , <u>櫻井光</u> , <u>久保田浩樹</u> , <u>建部千絵</u> , <u>寺見祥子</u> , <u>杉本直樹</u> , <u>佐藤恭子</u>
R3.11.25～26	食品中のタイプAトリコセシン系かび毒の同時分析法の妥当性の検証及び汚染実態調査	第58回全国衛生化学技術協議会年会	○ <u>吉成知也</u> , <u>小杉正樹</u> , <u>佐藤英子</u> , <u>下山晃</u> , <u>竹内浩</u> , <u>谷口賢</u> , <u>福光徹</u> , <u>藤吉智治</u> , <u>森田剛史</u> , <u>大西貴弘</u> , <u>工藤由起子</u>
R3.11.25～26	令和2年度 室内空気環境汚染に関する全国実態調査	第58回全国衛生化学技術協議会年会	○ <u>大嶋直浩</u> , <u>高木規峰野</u> , <u>高橋夏</u> , <u>酒井信夫</u> , <u>五十嵐良明</u> , <u>千葉真弘</u> , <u>小金澤望</u> , <u>柴田めぐみ</u> , <u>川村あさひ</u> , <u>曾根美千代</u> , <u>竹熊美貴子</u> , <u>橋本博之</u> , <u>大竹正芳</u> , <u>角田徳子</u> , <u>上村仁</u> , <u>田中礼子</u> , <u>高屋久義</u> , <u>細貝恵深</u> , <u>堀井裕子</u> , <u>望月映希</u> , <u>伊藤彰</u> , <u>青木梨絵</u> , <u>大野浩之</u> , <u>吉田俊明</u> , <u>古市裕子</u> , <u>八木正博</u> , <u>伊達英代</u> , <u>谷脇妙</u> , <u>松本弘子</u> , <u>前田美奈子</u>

R4.2.18	健康危機管理事象に備えた人体試料中の農薬分析法について	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会総会・研究会	○岸美紀, 沼田航遥, 江崎康司, 佐野達哉, 橋口成喜
R4.2.20	小児定期予防接種の接種率に及ぼす新型コロナウイルス感染症流行の影響	第13回予防接種に関する研究報告会	○三崎貴子, 廣富匡志, 池田史朗, 丸山絢, 岡部信彦

(4) 令和3年度論文掲載実績

下線: 健康安全研究所職員

題名	学術誌等の名称・掲載ページ等	著者(共著者を含む)
Building a robust interface between public health authorities and medical institutions in a densely populated city: state-of-the-art integrated pandemic and emerging disease preparedness in the Greater Tokyo Area in Japan	Inoculating Cities Case Studies of Urban Pandemic Preparedness	<u>Takako Misaki</u> , Tomoya Saito, <u>Nobuhiko Okabe</u>
出入国者が感染症発生に及ぼす影響とその対策	そんりーさ2021vol.24	<u>三崎貴子</u>
感染症法に基づく定点把握疾患の発生動向の変化	臨床と微生物 Vol.49No.2 p.9-16: 2022年3月	<u>三崎貴子</u>
川崎市内の三次救急医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の入院期間の違い～自治体病院の役割と課題～	全国自治体病院協議会雑誌 第61巻 2022年第3号 p.16-21	細田智弘, 浜田将太, 沼田賢治, 山崎さつき, 箕浦安祐, 藤谷茂樹, 坂本光男, <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
感染性物質を含有する可能性のある人体試料等の理化学試験に関するガイドラインと川崎市健康安全研究所における検討について	日本食品化学学会誌 28(1):47-53, 2021.	<u>赤星千絵</u> , <u>佐野達哉</u> , 吉田裕一, 橋口成喜, 田口貴章, 穂山浩, <u>岡部信彦</u>
Prolonged viral shedding of SARS-CoV-2 in an immunocompromised patient.	J Infect Chemother 27(2021):387-389.	Yukiko Nakajima, Asuca Ogai, Karin Furukawa, Ryosuke Arai, Ryusuke Anan, Yasushi Nakano, Yuko Kurihara, <u>Hideaki Shimizu</u> , <u>Takako Misaki</u> , <u>Nobuhiko Okabe</u>
Proactive engagement of the Expert Meeting in managing the early phase of the COVID-19 epidemic in Japan, February to June 2020.	EID www.cdc.gov/eid vol.27 No.10 Oct 2021. DOI: https://doi.org/10.3201/eid2710.204685	Tomoya Saito, Kaori Muto, Mikihiro Tanaka, <u>Nobuhiko Okabe</u> , Hitoshi Oshitani, Satoshi Kamayachi, Yoshihiro Kawaoka, Akihiko Kawana, Motoi Suzuki, Kazuhiro Tateda, Hitomi Nakayama, Masaki Yoshida, Akifumi Imamura, Fumio Ohtake, Norio Ohmagari, Ken Osaka, Mitsuo Kaku, Tomimasa Sunagawa, Kazutoshi Nakashima, Hiroshi Nishiura, Koji Wada, Shigeru Omi, Takaji Wakita
LightCycler®480を用いた遺伝子組換え食品検査の検討	神奈川県衛生研究所研究報告第51号, 1-6 (2021)	<u>赤星千絵</u> , 垣田雅史, 本田裕子, <u>佐藤英子</u> , 内山陽介, 大森清美, 津田清隆, <u>吉田裕一</u> , 佐藤弘樹, 関戸晴子
Detectability of papaya, tomato, apple and banana DNA in dried fruit products processed with food additive sulfites	Japanese Journal of Food Chemistry and Safety, 28(3), 2021	Kiyomi Ohmori, <u>Chie Akaboshi</u> , <u>Eiko Sato</u> , Junichi Mano, Kazunari Kondo, Hiroshi Akiyama, Kosuke Nakamura
大豆タンパク質の定量に及ぼす調理・加工の影響	食品衛生学雑誌, 62(6), 193-202 (2021)	渡邊裕子, 秋山晴代, 大澤伸彦, 井村香織, 伊関直美, 植田壽美子, 政岡智佳, <u>赤星千絵</u>
食品でのEsherichia albertii検査法のコラボレイティブ・スタディによる評価	厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業 食中毒細菌の検査法の整備のための研究 令和3年度 総括・分担研究報告書 p71	工藤由起子, 土田りえ, 榊田希, 小西典子, 尾畑浩魅, 齊木大, 山中拓哉, 佐藤千鶴子, 山谷聡子, 今野貴之, 床井由紀, 柳本恵太, 小林章人, <u>小嶋由香</u> , 高橋直人, 松永典久, 甲斐明美, 新井沙倉, 廣瀬昌平

題名	報告書の名称・掲載ページ等	報告者(共同研究者等を含む)
地方感染症情報センターの立場からの感染症発生動向調査の評価と改善に関する研究	厚生労働科学研究「マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」平成30年度～令和3年度総合研究報告書	中村廣志, 宗村佳子, 小川麻萌, 灘岡陽子, 片山丘, 岸本剛, 市橋大山, 大久保和洋, 山口宏樹, 鈴木智之, 小林亮太, 小野範子, <u>三崎貴子</u> , <u>丸山絢</u> , 播磨由利子, 吉野有美, 金沢聡子, 吉川聡一, 木内郁代, 矢島理志, 神谷信行, 中野道晴
地方感染症情報センターの立場からの感染症発生動向調査の評価と改善に関する研究	厚生労働科学研究「マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」令和3年度分担研究報告書	中村廣志, 宗村佳子, 小川麻萌, 片山丘, 岸本剛, 山口宏樹, 市橋大山, 鈴木智之, 小林亮太, 小野範子, <u>三崎貴子</u> , <u>丸山絢</u> , 播磨由利子, 吉野有美, 金沢聡子, 吉川聡一, 木内郁代, 矢島理志
腸管出血性大腸菌の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討する後ろ向きコホート研究	厚生労働科学研究「「感染症の病原体を保有していないことの確認方法について」の改定に資する研究」令和3年度分担研究報告書	<u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
新型コロナウイルス感染症対応における感染症情報センターの役割	厚生労働科学研究「地方衛生研究所における即応体制と相互支援等の確立に対する研究」令和3年度分担研究報告書	<u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
地方衛生研究所における即応体制と相互支援等の確立に対する研究	厚生労働科学研究「地方衛生研究所における即応体制と相互支援等の確立に対する研究」令和3年度総括研究報告書	調恒明, 吉村和久, 四宮博人, <u>岡部信彦</u> , 猿木信裕, 朝野和典, 高崎智彦, 宮崎義継, <u>三崎貴子</u> 他
新興感染症流行時における地方自治体の食品防御対策の検討	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む食品事業者における食品防御の推進のための研究」令和3年度 総括・分担研究報告書	<u>岡部信彦</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>佐野達哉</u> , <u>駒根綾子</u> , <u>浅井威一郎</u> , <u>清水英明</u> , 油田卓士, 渡辺麻衣子, 工藤由起子
カビ毒の汚染実態調査	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「日本国内流通食品に検出される新興カビ毒の安全性確保に関する研究」分担研究報告書	吉成知也, 中島正博, 竹内浩, 谷口賢, <u>橋口成喜</u> , <u>佐藤英子</u> , 福光徹, 藤吉智治, 鈴木実東, 森田剛史, 下山晃, 猪之鼻修一, 小杉正樹, 宮崎光代
規格試験法の性能に関する研究(ポリ乳酸を主成分とする合成樹脂製の器具又は容器包装における溶出試験の総乳酸定量分析法の性能評価)	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究」令和3年度総括・分担研究報告書	六鹿元雄, 阿部裕, 四柳道代, 近藤 翠, 浅川大地, 阿部智之, 池本玲子, 石黒聡, 糸川尚子, 今井浩一, 岩越景子, 宇木千晶, <u>牛山温子</u> , 内山陽介, 海野明弘, 大野浩之, 大橋公泰, 大畑昌輝, 大脇進治, 尾崎麻子, 風間貴充, 加藤由紀子, 河村葉子, 岸映里, 木村亜莉沙, 桑原千雅子, 御所窪誠, 小林千恵, 近藤貴英, 佐藤恭子, 佐藤環, 座間俊輔, 鈴木昌子, 高坂典子, 高島秀夫, 高橋良幸, 竹澤有紗, 田中 葵, 田中秀幸, <u>田中佑典</u> , 棚橋高志, 谷 拓哉, 照井善光, 外岡大幸, 永井慎一郎, 長嶺樹, 野村千枝, 八田淳司, 羽石奈穂子, 早川雅人, 平林尚之, 本田幸康, 水口智晴, 宮川弘之, 村山悠子, 藪谷充孝, 山口未来, 山田恭平, 横峯真吾, 吉川光英, 渡辺一成, 和田侑里華

(6) 令和3年度その他執筆実績

下線:健康安全研究所職員

題名	学術誌等の名称・掲載ページ等	著者(共著者を含む)
特集・知っておきたい成人のワクチンの知識 どうして成人にもワクチンが必要なのか	地域医学 35(1):15-19, 2021.	岡部信彦
2020年新型コロナウイルスの発生からこれまで	小児科臨床 74(1):7-13, 2021.	岡部信彦
特集・健康危機管理能力を高める CDCの必要性	地域保健 52(1):22-25, 2021.	岡部信彦
予防接種・この8年間で変わったのはここ！ これから5年で変わりそうなのはここ！ まるわかりワクチンQ&A 第3版	日本医事新報社 P.2-P.7 2021.1	編著・中野貴司、監・岡部信彦
ワクチンの安全性にかかわるWHOの取り組み ー予防接種ストレス関連反応(ISRR)という概念 ー産婦人科の実際	70(3):281-284, 2021.	岡部信彦
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と(季節性) インフルエンザ。ポストコロナ時代の 高齢者ケア ー2025地域包括ケア転換期に たって	第一法規出版 P.28-41 2021.5	編・著:朝田隆、村川浩一、監・岡部信彦
新型コロナウイルス感染症対策の基本 新型コロナ特集:日本の公衆衛生の現状と 感染症の課題	PHNブックレット 萌文社 P.7-P.25 2021.6.	岡部信彦
特集・コロナ禍の医療 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)ワクチン	地方議会人 6:8-11, 2021.	岡部信彦
特集・小児科医のためのHPVワクチン UPDATE 予防接種ストレス反応(ISRR) =WHOにおける考え方	小児科 62(6):575-580, 2021.	岡部信彦
正しい情報見極め「正しく恐れる」	危機の時代を生きる 編・聖教新聞報道局 潮出版 P.67-P.95 2021.8.	岡部信彦
SARS-CoV-2 ワクチンの最新情報	ICTのための新型コロナウイルスパーフェクト マニュアル P.156-P.161 インフェクション コントロール 2021夏季増刊 メディカ出版 2021.8.	編・著:堀賢、監・岡部信彦
わが国のCOVID-19パンデミックの状況	日本外科学会誌 122(6):594-599, 2021.	岡部信彦
新型コロナウイルス感染症の特徴	日医大医会誌 17(4):194-197, 2021.	岡部信彦
予防接種に関するQ&A 集 2021	日本ワクチン産業会 2021.8	岡部信彦、多屋馨子
予防接種健康被害救済制度	周産期医学 151(12):1728-1733, 2021.	岡部信彦

(7) 令和3年度表彰等受賞実績

表彰の名称	学会名等	演題・研究課題名等	表彰者
学術奨励賞	第89回神奈川県感染症医学会	川崎市における侵襲性肺炎球菌感染症(IPD) の発生状況と血清型分布状況について	西里恵美莉
支部長表彰	令和3年度地方衛生研究所全国協議会関東 甲信静支部		岸美紀

3 調査研究報告

令和3年度調査研究結果並びに事例等の一部を次ページ以降で報告する。

- (1) 川崎市における新型コロナウイルス感染症の流行時期別発生状況に関する検討・・・・・・・・・・ 83
(研究責任者：感染症情報センター担当 池田 史朗)

- (2) 川崎市における侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の発生状況と血清型分布状況について・・・・・・・・・・ 84
(研究責任者：呼吸器・環境細菌担当 西里 恵美莉)

川崎市における新型コロナウイルス感染症の流行時期別発生状況に関する検討

川崎市健康安全研究所

○池田史朗、丸山 絢、三崎貴子、岡部信彦

【背景及び目的】

新型コロナウイルス感染症は 2020 年以降世界的な流行を引き起こし、川崎市においても全国と同様に 2021 年 6 月までに流行の第 4 波を経験している。各流行の特徴を把握し対策に役立てることを目的として調査を行った。

【方法】

2020 年疫学週第 10 週から 2021 年第 25 週までに、法に基づき報告された川崎市内の新型コロナウイルス感染症 13941 件を対象とした。流行期間の第 1-4 波に相当する疫学週を各 2020 年第 10-26 週、第 27-44 週、第 45-2021 年第 8 週、第 9-25 週として、市内における流行状況と各期間の疫学的特徴を、変異ウイルスの検出状況を含めて、年齢階級別、性別に比較検討した。

【結果】

対象は男性 7796 件、女性 6145 件で、年齢中央値は 38 歳 (1 か月-103 歳) であった。各流行期間の報告数 (年齢中央値、男女比) は、301 件 (46 歳、3:2)、1706 件 (35 歳、5:4)、6562 件 (41 歳、27:23)、5372 件 (35 歳、3:2) で、第 3 波以降は報告数が急増した。いずれの期間も概ね男性が多く、全国状況と一致していた。第 3 波は報告数が最多であったが、他の流行時期と異なり、顕著な男女差は認めなかった。年齢中央値は第 1 波が最も高く、第 2 波と第 4 波は低かった。特に報告数の多かった第 3 波と第 4 波の年齢階級別割合を比較すると、10 歳未満は 3.6%から 3.5%と変化がなかったが、10 歳代から 40 歳代にかけては、各 6.4%から 8.4%、23.1%から 28.0%、15.1%から 17.5%、14.1%から 15.7%となり、総報告数の増加に伴って若年の割合も増加した。特に 20 歳代が占める割合は、第 2 波以降は 29.0%、23.1%、28.0%といずれも最多であった。50 歳代は 13.7%から 13.3%と大きな変化はなく、60 歳代から 80 歳代以上にかけては、各 7.7%から 5.9%、7.8%から 4.4%、8.4%から 3.3%と、年齢が高くなるに従い大きく減少した。また、第 4 波の初期である 2021 年第 10 週に市内で初めて英国由来の N501Y 変異株が 3 件検出され、以後検出数は急増し、第 20 週には当研究所で検査を実施した検体の 91.5%を N501Y 変異株が占めた。

【考察】

新型コロナウイルス感染症は、若年、特に 20 歳代の報告数の増加が流行の規模に影響を及ぼすと考えられた。第 4 波では N501Y 変異株の検出数が増加したものの、高齢者の割合は大幅に減少しており、2021 年 4 月 12 日に開始された高齢者向けのワクチン接種の効果が現れ始めていると推察された。

川崎市における侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の発生状況と血清型分布状況について
 ○西里恵美莉¹⁾、小嶋由香¹⁾、淀谷雄亮¹⁾、赤木英則¹⁾、三崎貴子¹⁾、常彬²⁾、岡部信彦¹⁾
 1) 川崎市健康安全研究所 2) 国立感染症研究所

【はじめに】川崎市において 2013-2021 年に届出のあった侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）患者と搬入された菌株の血清型別について検討したので報告する。

【材料および方法】IPD359 件の発生状況をまとめ、菌株 336 株（15 歳未満 65 株、15 歳以上 271 株）については Multiplex PCR 法及び莢膜膨化法で血清型別を行った。

【結果および考察】2013 年に 30 件であった IPD 届出数は、2018 年の 57 件をピークに減少し、2020 年は前年の半数の 28 件、2021 年はさらにその半数の 16 件であった。15 歳未満の届出は、PCV13 定期接種が開始された 2013 年は全体の半数の 15 件を占めていたが、翌年以降減少し 8.5-28.0%の間で推移した。2020 年以降、他の多くの呼吸器系感染症と同様に届出数は減少し、新型コロナウイルス感染症の流行による感染対策の強化も一因であると推察された。血清型別分布状況は、15 歳未満においては 2013 年の小児 PCV7 定期接種開始時には PCV7 に含まれない 19A が多かったが、19A を含む PCV13 に変更となった翌年より激減した。PCV13 の接種率は各年度とも 90%以上であり、2017 年以降は PCV13 含有血清型は検出されておらず、12F、24F が多く分離された。一方 65 歳以上のワクチン接種率は 30%程度であり、3、12F、19A など PPSV23 含有血清型が多く分離された。血清型分布変化も認められることから今後も継続した調査が必要であると考えられた。

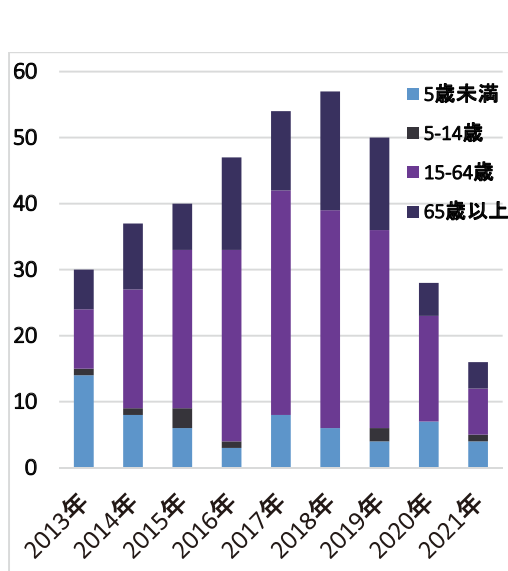


図 1 侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の年齢別届出数推移（2013～2021 年）

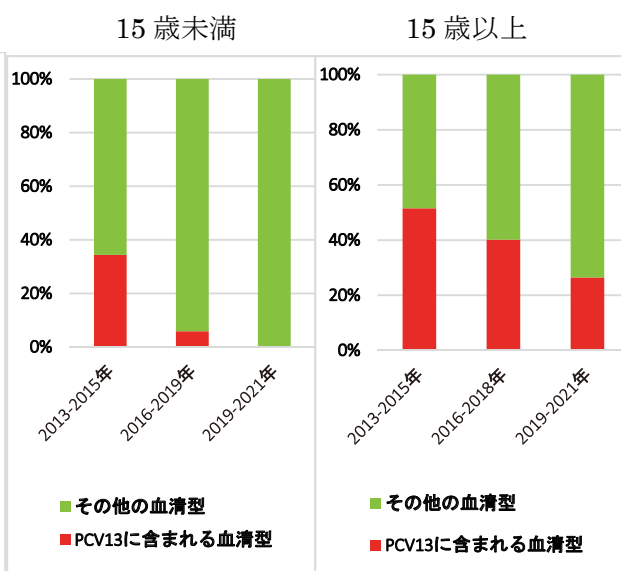


図 2.3 PCV13 に含有される血清型の分離割合の推移（2013～2021 年）

【第5章 職員に関する事項】

1 人事記録

(1) 異動(出)

年月日	役職	氏名	配属先
R3.4.1	担当課長	本間 幸子	中央卸売市場食品衛生検査所長
R3.4.1	課長補佐	泉 浩人	健康福祉局保健所医事・薬事課課長補佐
R3.4.1	担当係長	谷口 晃子	宮前区役所地域みまもり支援センター衛生課感染症対策係長
R3.4.1	主任	藤田 智丈	経済労働局中央卸売市場北部市場管理課主任
R3.4.1	主任	原 俊吉	川崎区役所地域みまもり支援センター衛生課主任
R3.4.1		安宅 香織	病院局川崎病院検査科
R3.4.1		田中 友	病院局井田病院薬剤部

(2) 異動(入)

年月日	役職	氏名	前所属
R3.4.1	課長補佐	赤木 英則	健康福祉局保健所医事・薬事課課長補佐
R3.4.1	課長補佐	佐々木 清隆	健康福祉局保健所医事・薬事課課長補佐
R3.4.1	担当係長	杉本 徳子	宮前区役所地域みまもり支援センター衛生課感染症対策係長
R3.4.1		廣富 匡志	病院局井田病院薬剤部
R3.4.1		沼田 航遥	病院局井田病院薬剤部
R3.4.1		荒井 智博	新任
R3.4.1		西里 恵美莉	新任

(3) 内部異動

年月日	役職	氏名	所属
R3.4.1	担当課長	小嶋 由香	昇任
R3.4.1	課長補佐	浅井 威一郎	消化器・食品細菌から食品へ異動
R3.4.1	担当係長	吉田 裕一	食品から消化器・食品細菌へ異動
R3.4.1	主任	阿部 光一朗	昇任
R3.4.1	主任	牛山 温子	昇任
R3.4.1	主任	淀谷 雄亮	昇任

2 職員名簿（令和3年4月1日現在）

担当理事

（所長） 技術職員 岡部 信彦

担当部長

（副所長） 技術職員 須崎 聰

〔総務〕

担当係長 事務職員 盛崎 健一

主任 技術職員 梅田 裕一

主任 事務職員 門脇 幸子

同 成田 哲治

技術職員 荒井 智博

〔企画調整〕

担当部長 技術職員 三崎 貴子

〔企画調整〕

担当係長 技術職員 杉本 徳子

同 畠山 理沙

〔感染症情報センター〕

担当係長 技術職員 丸山 絢

同 池田 史朗

同 廣富 匡志

〔理化学〕

担当課長 技術職員 橋口 成喜

〔食品〕

課長補佐 技術職員 浅井 威一郎

主任 同 佐藤 英子

主任 同 栗田 史子

主任 同 赤星 千絵

同 江原 庸

〔水質・環境〕

課長補佐 技術職員 佐々木 清隆

主任 同 小林 亨

主任 同 田中 佑典

主任 同 牛山 温子

同 高居 久義

〔残留農薬・放射能〕

担当係長 技術職員 岸 美紀

主任 同 佐野 達哉

同 江崎 康司

同 沼田 航遥

〔微生物〕

担当課長 技術職員 小嶋 由香

〔消化器・食品細菌〕

担当係長 技術職員 吉田 裕一

主任 同 三亀 美津穂

主任 同 阿部 光一朗

同 安澤 洋子

同 福島 和弥

〔呼吸器・環境細菌〕

課長補佐 技術職員 赤木 英則

主任 同 淀谷 雄亮

同 西里 恵美莉

〔ウイルス・衛生動物〕

課長補佐 技術職員 清水 英明

主任 同 駒根 綾子

同 佐々木 国玄

同 若菜 愛澄

同 荒井 千寛

同 夏井 航平

令和3年度
川崎市健康安全研究所年報
第9号(通巻第57号)

令和4年度発行

発行・編集 川崎市健康安全研究所

所在地 〒210-0821

川崎市川崎区殿町 3-25-13

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階

TEL 044(276)8250

FAX 044(288)2044

印刷 清光堂印刷株式会社